

育教の兒幼

號七第 號月七 卷三十三第



內校學範師等高子女京東
會協園稚幼本日

東京高等師範學校教授 文學博士 小野島右左雄先生著 菊判・全一冊・洋綴 定價金貳圓五十錢・送料二十二錢

新刊 性格心理學と兒童研究

心理學が兒童研究に及ぼした各種の功績及び心理學が人間の個性調査、性格検査に齎らした各般の効果を實に偉大なるものではあるけれども、併し既に之等の研究方法乃至検査之法に就いても革新の一時期に到達し從來の方法に依つては幾多の疑問を抱かれ誤謬も見出されよき研究の分途と分野は着々と切り開かれて居る。小野島教授は此の學界の新機運に際し最近の業績を蒐めたる本書を世に問ふ。故に其内容に於ては兒童研究、性格心理學に主點を置き各種の新研究を發表し、猶ほ最近心理學の動向を檢討して最も斬新なる斯學上の諸問題を提出し之等に對し教授独自の立場を展開してその進展に寄學す。されば一般心理學徒及び教育家篤學者の御必讀を乞ふ。

文學博士 小野島右左雄著

最近心理學概說上卷

菊判全一冊洋綴 紙數四百五十頁 定價金三圓五十錢 送料金一圓八十錢

我國に從來出版せられてゐる心理學書は多くは十年前の思想の產物であつた。心理學には他學に見られぬほどの革命が行はれやうとしてゐる。從來の心理學は多くは机上の心理學で、教へるものにも學ぶものにも不可解の科學の如き觀が方々あつた。然るに、本著は他に全く類例のない獨創的名著であつて、この一書を味讀することによつて、一般概論の考へ方は勿論、兒童心理學、社會心理學、その他各方面の系統的の新知識と考へて最近の心理學の成果を叙説してゐる。精神をもつて懇切に記述してある。如何に同博士が銳利リメスをもつて最近の心理學の成果を叙説してゐるか。

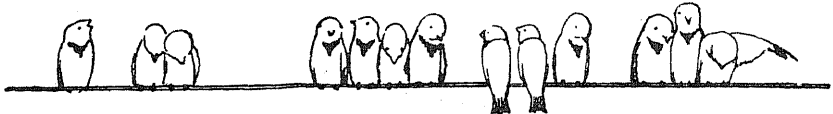
劣等兒 低能兒

心理と其教育

菊判全一冊 定價三圓四十錢 送料七十錢

東京帝國大學 文學士 青木誠四郎著 助教 櫻井文雄 劣等兒低能兒の特質の査定法之が發生の豫防、其教育法の全般に亘つて最懇切に詳説指導してある。故に劣等、低能兒の指導者は勿論一般教育家も教育の基本的準備として先づ本書の乞必讀。

發行所 東京市牛込區中區 振替電話 東三三三 八三三 四二二 七二五 番



號七第 育教の兒幼 卷三十三第

—(次 目)—

口繪 雜草の中で	
子供が歸つた後 (卷頭言)	倉橋惣三 (一)
幼兒性行評定尺度に就て (三)	淡路圓治郎 (二)
アメリカの幼年圖書 (2)	松原至大 (三)
幼兒教育の統一に就て	牛島隆則 (四)
夏期幼稚園について	和田實 (五)
夏の幼稚園について	檜山京 (六)
夏の幼稚園保育衛生	廣瀬興 (三)
八、九月の觀察	堀七藏 (五)
この夏の自由質疑討論講習に就て	倉橋惣三 (四)
子供と自分	大塚喜一 (四)
古きもの二つ	新庄よしこ (四)
丸山千代女史と語る	牧賢一 (五)
子供に劇を與へる心持について	高島巖 (五)
製作を中心として	(五)

第五回 保育 夏季講習會

一期日 七月二十七日より七月三十一日迄

二時 間 〔午前八時より十二時まで……………保育科
午後一時より五時まで……………遊戯科〕

三科目と講師

1. 幼稚園の新らしき問題 (四時間)

東京女子高等師範學校教授
東京昭和保姆養成所顧問兼講師

倉橋 惣三先生

2. 性格病理學 (四時間)

東京帝國大學助教授

青木誠四郎先生

○口をきかない子供、かんしやく持ちの子供など幼稚園、家庭で問題になるいろいろの異常児の心理學的發生
と其治療法

3. 生理學的的心理學的見地よりする幼兒教育 (四時間)

東京文理科大學教授 文學博士 寺澤 嚴男先生

○醫學士で文學博士の寺澤先生が幼兒の遊戯舞踊に正しい説明と標準を與へて下さいます

4. 製作の實際 (四時間)

東京美術學校出身
本校講師

武井勝雄先生

○ペーパーカット(新しき紙細工)の平面的立體的兩方面の製作を中心として他の手技を加ふ

5. 音樂 (四時間)

聲樂家 外山國彦先生

○幼兒に適する新教材を主とす

6. 律動及表情遊戯の理論と實際

(二十時間)

東京昭和保姆養成所長
瑞穂幼稚園長

土川五郎先生

○新材料二十五種主として幼児のもの。外に低中高學年のものを加ふ

四區分 保育科——1 2 3 4 5の五科目 遊戯科——3 5 6の三科目

五定員 三百名

六會場 東京市品川區大井原町五、二〇八 瑞穂幼稚園

省線大井町驛下車城南乗合バスにて「原」又は「水神前」下車一、二分

七會費 保育科 金三圓 遊戯科 金三圓 兼修 金五圓

八乗車割引券 五割引往復券 會費を添へてお申込の方にお送りいたします

購入切符使用期間は長く前後に十分の餘裕があります。七月二十日迄のお申込でないご間に合ひません

九申込 七月二十四日迄 東京市品川區大井原町五、二〇八 土川五郎宛

爲替又は振替東京六九二一四番により申込むこと

一〇宿泊 本校寄宿を充用す。一泊二食壹圓貳拾錢にて便宜お計りいたします

主 催 東京昭和保姆養成所

責任者 土川五郎

第五回保育夏期講習會

主催 佛教保育協會

一、期 間 昭和八年七月二十七日より三十一日
 まで五日間(但八月一日見學)

二、時 間 毎日午前八時より午後三時まで

三、會 場 東京市麴町區中六番町六、千代田高等女學校

四、會 費 金貳圓也

五、申 込 所 東京市京橋區南小田原町和光童園内佛教保育協會夏期講習會事務所宛
 (振替東京七八六六七番、電話京橋五八一〇番)

六、申 込 期 七月二十日まで (但定員超過の場合には期間中と雖もお断りすることもありませ)

七、定 員 百五十名

八、宿 泊 宿泊御希望の方には一泊二食付壹圓にてお世話いたします。(御希望の方はその旨申込書に記入の事)

九、見 學 新宿御苑拜觀並市内有數代表的保育施設見學

時 間 割

日	時	前	午	後	備 考
二十七日(木)	八時-九時	開會式	安藤講師	同	
二十八日(金)	九時-十時	同	同	同	
二十九日(土)	十時-十一時	同	同	同	
三十日(日)	十一時-十二時	同	同	同	
三十一日(月)	十二時-一時	同	同	同	
	一時-二時	同	同	同	
	二時-三時	同	同	同	
	三時	同	同	同	

一、證 書 講習修了者には講習證書を授與いたします

一、講師及科目

挨拶 前文部政務次官 安藤正純氏 二時間
本會々長

幼児保育の實際問題 東京女高師教授 倉橋惣三氏 二時間

音楽 (讚佛歌を含む) 前普學學校教員 弘田龍太郎氏 六時間
釋種院防衛課長

婦人の保健衛生 醫學博士 井口乘海氏 二時間
千代田高女校長

手技の實際に就て 前帝都教育會 泉道雄氏 二時間
媳婦傳習所教授

遊戲(讚佛歌遊戲を含む) タンダバハ舞踊研究所長 卜部たみ氏 四時間

佛教保育の過去現在及將來 東洋大學教授 賀來琢磨氏 六時間
本會副會長

幼兒の人形芝居 關寬之氏 二時間
 内山憲堂氏 二時間



雑草の中で

—東京女子高等師範學校附屬幼稚園—

幼 兒 の 教 育

昭 和 八 年 七 月

子 ども が 歸 っ た 後

子どもが歸つた後、その日の保育が済んで、まづほつこするのはひき時。大切な
はそれからである。

子どもこいつしよにゐる間は、自分のしてゐるこゝを反省したり、考へたりする暇
はない。子どもの中に入り込み切つて、心に一寸の隙間も残らない。たゞ一心不亂。

子どもが歸つた後で、朝からのいろ／＼のこゝが思ひかへされる。われながら、は
つこ顔の赤くなるこゝもある。しまつたこゝ急に汗の流れ出るこゝもある。あゝ濟まな
いこゝをしたこゝ、その子の顔が見えて來るこゝもある。——一體保育は……。一體
私は……。こゝまで思ひ込ませられるこゝも常である。

大切なのは此の時である。此の反省を重ねてゐる人だけが、眞の保育者になれる。
翌日は一歩進んだ保育者として、再び子どもの方へ入り込んで行けるから。

子どもが歸つた後で、此の反省をしない人。疲れて、ほつこして、けろりこして、
又疲れて、ほつこして、けろりこして、同じ日を重ねるだけの人。その日ぐらしの人
に進歩はない。

夏やすみにも、此の同じ意味の大切さがある。

幼児性行評定尺度に就て (三)

五、幼児性行評定尺度のその使い方 淡路圓治郎

(イ) 記入票

私共が先に提出しました五十二對の性行項目の中で、二十八名の保姆の先生方によつて、陶冶の必要度が比較的に大であり、しかも實際の陶冶が餘り困難でなく、また觀察も割合に容易であるを認められましたものは三四十項目に達しましたが、夫等には相互に重複したものもありますし、敘述の改良を要するものもありましたので、多少の整理を加へ、兒童の性行の各方面を把へ得て、しかも繁雜に互らぬやう注意を致しまして、比較的の有効適切を信ぜられる二十對の項目を以て、幼児性行評定尺度試案を作成いたしました。

選ばれました二十對の性行項目は、次に掲げました記入票にある通りであります。私共は幼児の保育上、これだけの觀察で十分だと思へるわけではなく、また他に附加すべき性行項目がないものでもなく、單に暫定的に今回はこの二十對を選んだのであります。今後實施の結果に基きまして、右の中不適當なものは除き、別に必要なものがあれば挿加へまして、漸次改善して行きたいと思ひます。

幼稚園に於てこの種の評定尺度を制定せられる向は、前掲の記入票を一例と見て、自園の保育方針を保育せらるべき兒童の性質に鑑み、保育上有意義な項目を選定して、適宜に合目的な尺度を作成せられんことを望みます。この場合、前號所載の諸表は参考資料として相當に役立つことと信じます。

幼児性行入票は端書大の印刷せられたカードで、幼児一人毎に一枚を用ひます。この記入票の上部には、觀察對象であ

幼児性行評定尺度

(試案)

姓名.....
 昭和...年...月...日生
 組名.....組

観察者 { I.....
 II.....
 III.....

-2 -1 0 1 2

1	氣むづかしい					氣輕である
2	興奮し易い					平靜である
3	何事にも興味が薄い					物事を知りたがる
4	氣が散り易い					よく注意する
5	倦きつぼい					根氣がよい
6	性急である					落つきがある
7	元氣がない					元氣である
8	獨創が少い					工夫をこらす
9	意思を發表しない					率直である
10	言ひなり次第になる					自分の考で行動する
11	ひとの厄介になりたがる					自分のことは自分でする
12	剛情をばる					すなほである
13	ひとりぼっちを好む					協力する
14	我儘に振舞ふ					秩序を守る
15	ふざけたがる					悪ふざけをしない
16	ねたみ深い					それまない
17	よくすれる					我慢する
18	ひとをいちめる					睦み合ふ
19	冷淡である					ひとの面倒を見る
20	ものを粗末にする					ものを大切にす

I	備考
	處置
	效果
II	備考
	處置
	效果
III	備考
	處置
	效果

る幼児の姓名、生年月日、組名を記入する欄に、観察者である保姆の姓を記入する欄があり、中央部には左右に對をなすやうに書き並べた二十組の性行項目と夫々を1、0、-1、-2の五段階に區切る五本の線があり、下部には觀察者毎に備考、處置、效果を記載すべき空欄があります。

(口)項目の解説

1、「氣むづかしい——氣輕である」。幼兒には神経質で、機嫌のみにくい、反撥的な子供があります。生れつき氣むづかしいこどももあり、身體が弱くて氣むづかしいこどももあり、境遇上氣むづかしくなつてゐるこどももあります。問題の幼兒がどの程度に氣むづかしいか、また何故に氣むづかしいかを知るこどもは保育上必要なこどもであります。

2、「興奮し易い——平靜である」。一寸したこどもでも刺戟され易く、すぐに興奮の状態を示す子供があります。いつもイラ／＼してゐて、心が落つかず、何かに感じるこびびく熱中して、夜もよく眠れない位に興奮し、つまらぬこどもが氣に懸つて、容易に忘れられません。この種の幼兒は一般に過敏で疲れ易い傾があります。これも前項の神経質關係のあるこどもがありますが、また、特に氣むづかしくはなくて興奮しやすい場合もあります。體質上興奮し易いものもあれば、病後刺戟性の昂まるこどももあり、また境遇があまりに刺戟的のために興奮し易くなつてゐる場合もあります。

3、「何事にも興味が薄い——物事を知りたがる」。幼兒の中には感激性が薄く、何事にも興味を抱かず、一向物事を知らずながらぬ子供があります。倉橋先生の云はれる「氣の鈍い子」が之に當るのではないか思ひますが、この種の幼兒は別に低能でもなく、病氣でもないのに、いつもボンヤリしてゐて、氣に張りがなく、外部の刺戟に對しては受動的で、自ら進んで問題を解決したりまた積極的に他人に働きかけたりするこどもをいたしません。嬉しいこどもがあつてもこびびく喜びません。吐られてもこびびく悲しみません。一見感じが鈍いやうに見えます。

4、「氣が散り易い——よく注意する」。始終一つのこどもにじつくり心を落つけてゐるこどもが出来ず、次から次へ氣が散つて、キョロ／＼してゐる子供があります。目まぐるしいほゞ氣が變りやすく、たえず傍視をしたり身體を動かしたりして、一つのこどもに精神を集中するこどもをしません。自然注意が散漫で、先生の云ふこどもや他人のするこどもが心に留まらず、印象が上滑りをして深く頭腦に残りません。また一般に眞剣な態度がなくて、十分に努力する所がありません。この種の傾向は先天性よりは寧ろ習慣に由る場合が多いやうに思はれます。

う、「倦きつほい——根氣がよい」。これは前項の傾向に部分的には聯關してゐます。元來注意が散漫で、絶えず次から次へに興味の對象が移つて行くために、一つこゝを遣り遂げるこゝが出来ないで、倦きつほく思はれるこゝもありません。また物事に相當に興味をもつて居り、一時は可成り注意を集中するが、永續きしないために倦きつほく見えるこゝもありません。ある場合には熱し過ぎるために反つて冷め易く、間もなく精神の緊張が弛んで、反動的に厭氣を生じて、耐へ難くなるこゝさへもあります。原因は種々でありますが、結果に於て飽きつほく根氣の薄いこゝは一つであります。飽きつほい子供を根氣よくするための保育手段は、原因に従つて夫々異らなければなりません。先づきの程度に根氣が薄いかを知るこゝは、保育の第一歩として必要なこゝであります。

6、「性急である——落つきがある」。何かの動機に動かされて行動する際に、幼児は大人に比べるこゝ、いつも必ず衝動的で、待つ暫しが無く、可成り性急であります。何かが欲しくなるこゝ暫くの我慢が出来ませんし、何かを思ひつくこゝすぐ下手につけないでは承知しません。しかし同じ幼児の中でも、この種の傾向が特に強い子供がおりまして、刺戟を受けるに直ぐに反應して、少しも分別をしたり選擇をしたりしないものがあります。その動作は反射的で、いつもせつちかちで、氣短かであり、殆んご落付きがなく、何等前後の見境がありません。また慌てるもので、輕はづみであり、思慮の不足のためによく、失策を重ねたり。この傾向は先天性からも來ますが、家庭の躰け方や本人の習慣なごからも生じるものがあります。

7、「元氣がない——元氣である」。動作が不活潑で元氣がなく、きここなく生活力の薄弱を思はせる子がおります。病氣や榮養不良なごのために元氣のない子供もおりますが、體質上元氣に乏しい子供もおります。また失望落膽その他の精神沮喪のために氣魄が衰へて、一時元氣のなくなる場合もおります。殊に家庭の不和、虐待、冷遇その他境遇上の事情によつてこの種の狀態に陥つてゐる子供がおります。

8、「獨創が少い——工夫をこらす」。幼児の行動は一般に模倣的で、人真似である場合が多い。先生や父母や兄弟のする所や云ふことを殆んどその儘反復的に模寫します。然し幼稚園に入る位の年齢になりますと、想像力も相當に發達して參りまして、人真似ばかりをしてゐるのではないで、自分で工夫も凝せば、またある度の創意をも示します。この年齢に達してもなほ微塵も獨創らしいものが認められないやうでは、精神の發育が遅れてゐる云はなくてはなりません。全く所動的に人真似ばかりをしてゐる子供は、適當な手段で早く、多少でも自分で工夫を凝らすやうに導いてやりたいものであります。

9、「意思を發表しない——率直である」。教育は教師と兒童との對人作用でありますから、先づ兩者間の意思疎通が何よりも必要であります。ところが幼児の中には、生來無口でいつもむつつきしてゐて、餘り自分の意見を表示しやうとしない子供もあれば、また教師に馴染まなかつたり羞かしがつたり怖れたりして、不機嫌に口をつぐんでゐて、頑固に自分の意思を表明することを拒むやうな子供もあります。前の子供はいつ誰の前に出ても話したがらないのですが、後の子供は家庭なごでは大に喋るのに、幼稚園では少しも口をきかないのです。後の子供は最初は頑固ですが、少し馴染ませ、一寸したキッカケを作つてやるに、率直に意思を表示するやうになり、後には反つて大におしやべりをする位にもなりますが、前の子供は最初はひびくだけになほりも悪く、到底能辯にするなごさいふごこは出来ません。然し、自分の意思を發表するに遺憾のないだけに導くごこは困難ではなく、その修練によつては、簡潔明快に所信を表現する雄辯家は、寧ろこの種の子供の中から出るものであります。

10、「言ひなり次第になる——自分の考で行動する」。父母、先生、年長者、その他目上のものに對して、いつも言ひなり放題となり、自分の考で一應分別して行動しないで、全く暗示的に動作する子供があります。かういふ暗示性に富んだ子供は、自分の考をもちませんから、自他のなごこを批判するごこ出來ず、道德的にはいつ迄も低い状態に止まつて

るなければなりません。こんな子供はよい人が一指にゐるに正しいことをしますが、悪い人が傍にゐるに間違つたことを仕出かします。幼児は皆最初はこんな風ですが、幼稚園に入る頃にもなれば、幾分は分別が出来て来て、自分のことは一應自分が考へた上で動作するやうになります。この時期になほ未だ人の云ひなり次第になつてゐる様では、意志の發育が遅れてゐるのですから、この方面の陶冶を加へてやる必要があります。

11、「ひこの厄介になりたがる——自分のことは自分でする」。この問題は幼児の獨立心、又は自治の習慣に關するものであります。幼児の中には身體の虛弱、知能の低劣なきのために保護者の手を煩はさないでは動作することをむづかしい子供もありますが、幼稚園へ来る位の子供では、そんなのは寧ろ少く、家庭で平素可愛がり過ぎて、何から何迄母親や女中が面倒を見てやる所から、自然、獨立心がなく、人手を借りるのを當然に考へ、また自分で自分のことを仕末しやうといふ氣さへ起らない場合の方が多いやうであります。即ちその多くは習慣から來たものですが、中流以上の家庭にはこのやうなひこの厄介になつて平氣でゐる子供が珍らしくはありません。

幼児を社會化するには、先づ自分のすべきことを認識させて、これを人手を勞しないで自分で仕末をつける習慣を養はせることが必要でありますから、幼児自身がこの點に關してどんな状態に在るかを知ることは大切であります。

12、「剛情をはるすなほである」。教育は一種の訓練でありますから、生徒は先づ教師を敬愛して、その指圖に服従することが必要であります。幼児の中には境遇上反抗的となり、目上を尊敬する念に缺けてゐて、先生を先生とも思はず、命令に服さないものがあることがあります。こんな子供はいつも自分の思ふ通り振舞ひたがつて、押へられるに反撥し、この迄も片意地を通さうと頑張ります。一旦思ひこむと、執念ぶかくいつ迄も忘れないで、之を實行しなければ承知しません。こんなの他に、また、機嫌かひで、平常は比較的すなほであります、機嫌をそこなふにつむじを曲げて、一時ひびく剛情になる子供もあります。後の子供は機嫌がよい時は一倍柔和であるのに、一寸したことで、感情を

害し易く、一旦つむじを曲けたまなります。誰のいふこもをきかず、駄々をこねて傍から手がつけられないやうになります。幸に感情が治まります。また頗るすなほになります。

即ち反抗的であるために依怙地であるもの。感情が強すぎ自制心足りないために剛情になるもの。前者は先づ環境から改めてやこもに矯正を要しますが、その陶冶の仕方は原因に従つて夫々異らなくてはなりません。前者は先づ環境から改めてやるべきであります。後者は不斷おこなしい時にやさしく訓戒を加へてやらねばなりません。

13. 「ひこりほちを好む——協力する」。この傾向は可成り生來素質に關係して居ります。内氣な生れ付きのものは羞耻が強く、ひこみ接觸することを好まず、ひこみ一緒に遊ぶよりは獨りで片隅に引込んでゐるたがります。生來社交性の少い孤獨すきな子供であります。然しまた一人子であつたり、兄弟の年齢が距り過ぎてゐるために同輩として一緒に遊ぶ機會が少かつたり、或は家庭で風にも當てぬやうに大切にされて他の子供と接觸することを禁じられたり、近くに適當な遊び友達になかつたりしたために、人馴れないで、新しく幼稚園に入るを暫くは友達を避けて、ひこりほちになりました。子供があります。これは生れ付き社交性が薄いこいよりは社交性の伸びる機會が與へられなかつたものであります。また環境に對して順應するのに骨が折れて、人なつかしがるに拘らず、積極的に仲間を求めないでゐる臆病な子供もあります。こんな子供は自宅では仲のよい馴染友達を集めてよく一緒に遊ぶのですが、幼稚園のやうな多勢新しい同輩のゐる所では尻込みをして、怖氣つきます。即ち諺にいふ「内廣がりの外つぼまり」。「こか」家の中では鮑貝、家の外では蜆貝の子供であります。

この種の幼児も少し馴れて來ます。ひこみ一緒に遊び仕事を偕にするやうになりますけれども、第一種の子供だけは矯め難く、腹の底から打こける所がなく、いはゞ仕様がなしにつきあつてゐる程度に止まります。

14. 「我儘に振舞ふ——秩序を守る」。この傾向は寧ろ平素の躰けの不足から起るもので、これ迄の習慣に由る所が大であ

ります。家庭で甘やかされた子供、恐いものなしに育てられた子供、頭を抑へられたこがな子供、要するに境遇がよ過ぎた子供に多く見られるものであります。他人の思わくを憚つたり、ひみの身になつて考へたりしないで、自分の慾望だけに動かされて仕たい放題に傍若無人に行動します。即ち我身をつねつてひみの痛さを知るこいふ風な同情的な所がありません。然しこんな子供は生來同情心がないこか、冷淡であるこかといふのではなくて、團體的訓練を受けたこがないために、いつも我意が通じて行けるつもりでゐるのであります。

幼稚園に入つて、同輩と一緒に接觸してゐますこ、四周から揉まれて、間もなく物事は自分の思ふ通りにばかり行かないものである事が自然に合點できまして、自づから我儘を慎しむやうになつて参ります。然し中には我儘一杯の癖が強く、なかく癒り難い子供もありますから、先生が適當な方法で此癖を矯めてやらねばならぬ事も少くはありません。

15、「ふざけたがる——悪ふざけをしない」。幼児の中にはお調子にのる子供がありまして、感興にまかせてひみからかつたり、衆をたのんで悪ふざけをしたりするものがあります。これは生來外向性傾向の強い子供によく見られる所ですが、家庭での育て方にも關係があります。一般に幼児はおだてられたり、喝采されたりしますこ、調子づいてふざけたがる傾がありますが、度を超えて悪ふざけをするやうな子供は、多くの場合、興奮性が特に強くて自制が出来にくい様であります。かういふ子供は餘り興奮させないやうに、また煽てゝ人氣者に祭り上げないやうに氣をつけて保育しなければなりません。

16、「ねたみ深い——そねまない」。ねたみは可成り小さい子供の時分から認められます。殊に女兒では相當に顯著なものがあります。これは所有本能や自己擴張本能なごみ關係がありまして、最初は單にひみの持つてゐるものを自分も持ちたがつたり、ひみと同様に自分も褒められたがつたりする程度ですが、慾望が満足されにくい境遇に在つたり、満足されない場合が多かつたりしますこ、不満の情を刺戟を與へる相手方に轉移して、ひみを羨望したり嫉妬したりするやう

になります。何事に關して一旦こゝういふ傾向が出來ますと、事毎に他人をねたみ、そねみ易くなり、また自分が順境にあれば、ひみに見せびらかせ、ひみを羨ましがらせて楽しむいふ風な状態になります。かういふ氣持は吾々大人になつても無くなりませんが、大人ではこれを醇化して奮發したり努力したりするこゝもあるのですから、強ち悪いまばかりも申せません。然しこの傾向の強すぎる子供では、これがために社會的行動を忌避したり、反社會的になつたりする場合がありますから、適當な方法で相當に矯正する必要があるませう。そのねたみそねみの感情醇化して、子供が得意とする事柄や恵まれてゐる方面で満足はせてやるのも一法であります。さりましてこの感情を利用して無暗に競争心を煽り立てるなごは禁物で、頗る行き過ぎ云はねばなりません。

17、「よくすねる——我慢する」。感情の強い子供や我儘に育てられた子供は、自分の慾望が満足されなかつたり、意の儘に振舞へない場合には、不平不満の念に驅られて、すねたり膨れたりいたします。殊に我意をつき通すこゝがむづかしい場合や積極的に抵抗の出來ない相手に對しては、唯一の武器として不平不満の態度を示し、憤慨の情を漏すために、無關係の事柄や罪もない人々に對して、當り散らします。之は不快を抑へ不満をこらへる耐忍心が足りないためでありまして、恵まれた家庭の子供によく見られる所であります。幼稚園で多勢の仲間を伍してゐます裡には、社會的に訓練せられて、世の中のこゝは自分の思ふ儘には行かないものであるこゝを悟り、我慢をし諦めるこゝが出来るやうになります。保育の手段としては、直接事毎に叱責するよりは、かういふ自然の訓練に托せて置く方が賢明であります。然しすねる傾向の特に強い子供では、適當な方法でなるべく早くこの惡癖を矯めてやらねばなりません。

18、「ひみをいぢめる——睦み合ふ」。これは14、15の項目なごも幾分の關係がありますが、また別箇に存する場合もないわけではありません。即ち我儘の結果ひみをいぢめるこゝもあれば、惡ふざげの結果が弱いものいぢめになるこゝもありますが、またひみをいぢめるこゝそのものに快感を覺えて好んで弱いものいぢめをするやうなものもあります。ある年齢

期には一般にこの種の作虐的傾向が現れ勝ちですが、之が特に顯著に現れる變態的な子供も無いわけではありません。しかし、これ等の區別は餘り嚴密ではなく、お山の大将になりたくて意に従はぬものをいぢめてゐる裡に自然弱いものいぢめが面白くなつて來てしまひには甚だしく作虐的になる場合なきも珍らしくありません。

他人に對する同情や親愛の念は社會生活の基調をなすものでありますから、幼稚園では特にこの種の傾向ある子供には十分の保育を加へてやらなくてはなりません。

19、「冷淡である——ひきの面倒を見る」。幼兒は元來自己中心的で、直接關係のない他人のこゝには、頗る冷淡な傾があります。多少物心がついて參りますと、弟妹ミか弱小者ミかに對しては、相當に面倒を見るやうになり、また大人振つて世話をやきたがるやうになります。然し乍ら、一人子であるミか、ひきの面倒を見る機會に乏しかつた子供なきでは、いつまでも他人のこゝには冷淡で、無頓着であり、援助ミか奉仕ミかをしやうもせぬものがあります。大人のやうに特に惡意があつて冷酷に振舞ふのではなくて、全く氣がつかなくて冷淡になる場合が多いやうであります。他人に對する配慮や助力も亦た社會生活上肝要なものでありますから、それらの習慣のない子供には、適當に訓練を與へて、他人殊に弱少者に對する奉仕援助の習慣をつけてやる必要があります。

20、「ものを粗末にする——ものを大切にする」。この傾向は専ら家庭に於ける幼兒の習慣に由るものであります。贅澤に育て上げられた子供や、自墮落に仕たい放題に育てられた子供や、無頓着に野放して育てられた子供なきには、この種の傾向が頗る強くて、容易に矯正し難いものがあるこゝがあります。

ものゝ値打を知りその有難味を悟らせるこゝも保育上大切ですが、ものを粗末にするこゝが他人にこんな迷惑を及ぼし不便を與へるかを會得させるこゝも必要であります。儉約ミか節儉ミかいふこゝよりは、寧ろ一種の公德ミしてものを大切にする習慣を養はせる方が一倍適切なのではないかと思はれます。

以上の解説は選ばれた箇々の性行項目の性質を説明するために便宜引例せられたものでありまして、必ずしもあらゆる場合を盡くしてゐると思ひません。また所説そのものにも、ある立場からすれば、不穩當を考へられるものもないことは云へません。然し評定尺度を制定し運用して行くためには、豫め觀察項目として選ばれた諸種の性行の意味内容を一定して置く必要がありますから、箇々の條項に就ては、各幼稚園で一々仔細に検討の上、その内容を一定せられるのがよいと思ひます。たゞ一例までに我流の解説を試みて見ました。

(ハ) 評定の時期

幼稚園に於ては、兒童の性行は絶えず觀察せらるべきでありまして、觀察に時期を限る要はあるまいと思ひます。然し乍ら、觀察の結果を保育の参考に資し、之に基いて各兒童の保育の方針を定め、若くは之によつて保育の効果を窺ふためには、一定の時期を定めて、計畫的に詳定する必要があります。即ち平素の觀察を時々整理して、保育に活用しなければなりません。

私共は先の記入票では、評定時期を三期に定め、入園直後(第一學期の後半期)、一年の終、二年の終の三回、評定記入する事にしてあります。之は二年制の幼稚園の場合でありますが、一年制の幼稚園では入園直後と年度の終との二回で十分でせうし、三年制の幼稚園では、一年目に一回、二年目に一回、三年目に一回といふ風に評定せられても差支へはないでせう。また、ある種の項目ではすぐに評定の出来るものもありませうが、ある種のものでは評定する迄には相當に長く觀察を重ねなくてはならぬものもあるでせう。更にまた、ある兒童では容易く評定が出来るが、他の兒童では評定に手間ざるに云つた場合もあるかもしれません。

右の時期は大體の目安でありますから、適宜御考慮の上、適當なる機會に評定記入せられん事を希望いたします。(未完)

日本幼稚園協會 保育講習會

期間 七月二十一日ヨリ同二十六日迄

會場 東京女子高等師範學校新校舍 (東京市小石川區大塚町) 市電窪町停留場前

講習科目及ビ講師

第一部 (午前八時ヨリ正午迄、六日間)

一、幼稚園保育ノ眞諦並ニ保育案、保育過程ノ實際

實際ノ適用ヲ主トスル講述ト共ニ講義外ノ質疑ニ對シ特ニ座談式討究解答ノ時間ガ設ケラレマス (十二時間)
東京女子高等師範學校教授 倉橋 惣三
附屬幼稚園主事

一、幼兒ノ心性査定ノ方法ト新査定尺度ノ發表及ビ解説
保育上ノ目下ノ緊要問題タル幼兒ノ心性査定ニ關シ特ニ博士ノ新研究ニナル査定尺度ガ發表サレ説明セラレマス (六時間)
東京帝國大學助教 淡路圓治郎
文學博士

一、幼稚園ニ於ケルプロヂエクト手技製作ノ實習

幼稚園保育ノ本義ニ基ク新考案ノ手技製作ノ實習ニヨリ最直接ナル保育資料ガ提供セラレマス。 (六時間)
東京女子高等師範學校 及川 ふみ
保姆兼教諭

第二部 (午後一時ヨリ四時迄、五日間)

一、幼稚園ニ適切ナル唱歌遊戲及ビ幼兒團體遊戲指導

一、幼兒ニヨル團體遊戲ノ實演
幼稚園ノ遊戲ハ最モ考慮セラレベキ時機ニ到ツテ居リマス。單純簡素ヲ主トスル唱歌遊戲ト幼兒生活ニ即スル團體遊戲ノ新立案トハ此ノ要求ニ正シイ満足ヲ與ヘルモノデアリマス。 (十五時間)
東京女子高等師範學校助教 戸倉 ハル

會期中附屬幼稚園ノ新園舎設備展覽及ビ兩部ノ會員招待懇親茶話會等ヲ催シマス。

講習料 第一部 金參圓。 第二部 金貳圓。 兩部共通 金四圓。

宿舍 本講習員諸君ハ御希望ニヨリ東京女子高等師範學校ノ閑靜ナル新寄宿舎 (講習會場ト同位置)ニ宿泊ノ便宜ガ供セラレマス。 宿泊料一泊 (二食付) 金壹圓貳拾錢。

申込 聽講、宿泊イヅレモ七月十五日迄ニ本會講習掛宛 (東京市小石川區大塚町東京女子高等師範學校附屬幼稚園内日本幼稚園協會)ニ御申込ミ下サイ。 御住所 (及ビ奉職所名) 必ズ御明記置キ願ヒマス。 講習料ハ御出席ノ際 (第一日) 御持參下サイ。

資格 制限アリマセン。 (本年ハ例年ノ文部省保育講習會ガ東京ニ開カレマセンノデ本會ガ主催イタシマシタ。 從ツテ文部省講習ノ場合ノ如ク地方長官ノ推薦手續ヲ要シナイノハ素ヨリ、一地方人員數ノ制限モアリマセン。 御自由ニ本會ヘ直接御申込ミ下サイ。 念ノ爲ニ申添ヘ置キマス。 (準備ノ都合上ナルベク早ク御申込ミ頂クト幸デス)

注意

- 一、第一部講習員ハ次ノ品ヲ御持參下サイ (御持參ナキ方ノタメニハ會場内賣店ニ用意ガアリマス) 鋏、クレオン、糊、白カタン糸、物尺、鉛筆
- 二、第二部講習員ハ洋服 (運動服ナレバ尚ヨロシ) 運動靴ヲ御用意下サイ。 (和服ノ場合ハ必ず袴ヲ着ケ下サイ)
- 三、製作實習材料費、樂譜代トシテ各五拾錢ヲ要シマス。

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

昭和八年七月

日本幼稚園協會

アメリカの幼年圖書

松原至大

(2)

First picture book (Mary S. Martin)

一、三歳むき。幼い子供たちが毎日の生活の中で出會ふいろいろな事物の寫眞を收めたものである。子供たちはその一つ一つを指してその事物の名を云ひあつたり、それについての自分の知識を語りあつたりするやうに導いてある。寫眞は Edward Steichen. の撮影とならぬ。(Harcourt, Brace & Co., New York, \$ 2.00)

Second picture book (Mary S. Martin)

二歳から四歳むき。前のよりは更に程度の進んだもので、一層美しい寫眞が收められてゐる。(同上)

Here and now story book (Mrs. Lucy Mitchell)

二歳から四歳むき。この時代の子供たちの思想を取扱つた實際的な物語を集めたもので、著者はその序文において、子供たちが本能的にもつてゐる興味を云ふものを説いて、それによつて話材を選択することの重要性を示してゐる。兩親にまつても、また教師にまつても得がたいもの一つである。(E. P. Dutton & Co., New York \$ 2.00)

My book of wild animals

二、三歳むぎ。野生の動物のみづこな繪を集めたもので、巢なきの自然の様がよく理解される。リンネル製。(Gabriel, 75)

Herbert the lion (Clare Newberry)

二歳から四歳むぎ。いかにも純な氣持を表した面白い空想的なき話。(Brewer, Warren & Putnam, New York, \$1.75)

Old old tales retold-folk tales

二歳から四歳むぎ。永い間子供たちに愛されてきて、彼等の生活の中にさへ入つてゐるやうに思はれる昔話を集めたもの。同じ種類のものの中で、この時代の子供たちに推稱し得る唯一のものであらう。美しい大きな繪が入つてゐる。(P.

F. Volland & Co., Joliet, Illinois, \$ 3.00)

Over land and sea

二歳から四歳むぎ。船や飛行機などのさまざまの繪を収めたもので、リンネル模造布製。(Gabriel, 75)

Peter Rabbit

二歳から四歳むぎ。これもわが國の子供たちに馴染みの深い昔からの物語である。種類の多いものであるが、特にこれは推稱される。挿繪はづつちかみ云へば、リアリステイックな方で、その彩色も大ききものが、子供の心をひきつける。リンネル製(Gabriel, 76)

Railway book

二歳から四歳むぎ。鐵道旅行の物語の中に汽車についての知識を澤山織りこんである。幼い子供にもよく理解されるやうに、全ページにみづみづな挿繪がある。リンネル模造布製で丈夫なもの。(Gabriel, \$ 75)

Airplane ride, Billy's letter, Engine's story, Grandfather's farm, Jip and fireman, Mary and the policeman, Mr. Brown's grocery store. Story about boats (Helen S. Read)

二歳から四歳むぎ。八歳にもそれほどの題目についての實際を味はせる優れた小さな本。お話も挿繪も子供たちが喜び著してくるものである。六、七歳になるまで、自分でも讀める。Social Science Readers として有名なもの。(Scribner, 各冊 \$ 60)

Peregrin and the goldfish (Fran Tom Seidmann-Freud)

四、五歳むぎ。空想味の豊かな繪物語である。繪は非常に明るく。(Macmillan, \$ 2.00)

Head for Happy (Helen Sewall)

四、五歳むぎ。ヘティ、メティ、レティ、ミ云ふ三人の姉妹が、幸福の首をもつてゐる襦袢を著た人形を捜しにグアム島に行く旅の物語。挿繪も珍しいもので興味をそそる。(Macmillan, \$ 2.50)

Three bears

二歳から四歳むぎ。昔から相も變らず子供たちに喜ばれるもの。丈夫なリンネル模造布にプリントされて、そのページにも、繪が入れてある。(Gabriel, \$ 75)

Three little kittens

二歳から四歳むき、三匹の子猫とその母猫の日常生活を題材にしたもので、猫たちの綺麗好きと責任感の云ふものが、童話風に表現された物語のプロットを作り上げてゐる。リンネル模造布製の丈夫な本である。(Gabriel, \$ 75)

Three little pigs

二歳から四歳むき。昔から知られた物語の一つ。三匹の豚が同じやうに仲よく世の中のにり出して行つたが二匹は途中で挫折、一匹だけがさまくるな困難に打ち勝つて、幸福に暮したと云ふのである。これも全ページに挿繪があつて、リンネル模造布の丈夫な製本である。(Gabriel \$ 75)

Told under the green umbrella

「Three Little Pigs, "Pancake," "Old Woman and Her Pig," "Three Billy Goats Gruff," "Eaves and the Shoemaker," "First Christmas" などの有名な童話を収めたもので、この種のロマンチックな「おそろく完全なものであらう。かなり大きな子供にもむく。彼の地の児童教育協會(the Association for Childhood Education)でも、特この書を推薦してゐる。

Peggy and Peter (Lena Towsley)

二、三歳むき。幼い子供たちの朝起きるころから夜床に入るまでを、みづみづな寫真で物語つてゐる。寫真の一つ一つに極めて簡単なお話が添へてある。これも前に掲げた "First Picture Book" と同じやうに出版界の一新紀元を劃するものではないか。 (Farrar & Rinehart, New York, \$ 2.50)

Lion cub (Hamilton Williamson)

二歳から四歳むき。云々云々をきかない人間の子供によく似てゐるライオンの子供のお話。彩色した繪のシルエットを添へてゐる。(Doublday, \$ 75)

Little elephant (Hamilton Williamson)

二歳から四歳まで。象の子供の面白いユウモラスな出来ごころを扱つたもので、挿繪は前のと同じやうに、彩色のシルエット。(Doubleday, \$ 75)

童話類

Everything and anything (Dorothy Aldis)

Here, there and everywhere (同上)

いづれも空想に富んで子供の喜ぶ調子をもつた童話集である。動きが、ユウモラス、眞實な、チャームな、快いリズムを備へてゐる。子供たちは自分たちの経験に興味をそこに表現されてゐるので、とても喜ぶ。挿繪は Helen D. Jameson の筆になる。(Minton, Balch & Co., New York, 各冊 \$ 2.00)

One hundred best poems for boys and girls (Marjorie Barrows 曲)

明るい愉快な詩を集めたもの。永い時代を通じて磨きをかけられてきた有名なもの、他に、現代の詩人の作も收めてある。中でも特に幼い子供たちに推稱されてゐるのは、次ぎの作である。

Hiding (Dorothy Aldis)

Animal (Crackers (Christopher Morley)

The Woodpecker (Elizabeth M. Roberts)

Politely (Dixie Wilson)

(Whitman, \$ 1.00)

A. B. C. nonsense rhymes (Edward Lear)

聞なうナンセンスを盛つけたクラシックであるが、子供は時折それを必要とするを見て、かうしたものを喜ぶ。Happy Hour Series の一つである。(Macmillan, \$ 50)

Now we are six (Alan A. Milne)

When we were very young (同上)

著者はイギリス現代の詩人である。マザー・グーズ風の色彩と味に富んで、子供の生活に徹した作である。いづれもクリストファー・ロビンとニムホ子供の陰影のない姿を描いたもので、子供たちに喜ばれてゐる。幼馴染の片腕さも見える Ernest H. Shepard の挿繪がまたうつつてつけである。私は四年は以前に『童話文學』誌上で、後者の半分ほこを紹介したことがある。またその中の十四篇は、H. Fraser-Simon の作曲、J. Dale Smith のバリエーションで、コロムビア・レコードに吹きこまれてゐる。このレコードは現在わが國に來てゐるが、彼の地の傾向を知るには向によりのものであらう。(Dutton, 各 \$ 2.00)

幼児教育の統一に就て

京都 永觀堂幼稚園 牛 島 隆 則

保育事業の現状

我國に於ける保育事業の現状は、幼稚園令に基き保育せる者ゝ然らざる者との二つに區分するこゝを得、即ち前者は文部省の統轄に屬し、後者は内務省の統轄に屬する者なり、更に言葉を換へて云へば、前者は設置に當り幼稚園令に定めある條件に基き監督官廳の認可の許に生れたる者、後者は然らざる者なり、即ち何々幼稚園として幼稚園なる名稱を附しある者は前者に屬し、何々保育園、何々育兒園、何々託兒所、何々幼児園、何々童園、何々の家ミか附しある者は後者に屬する者なり。

以上の如く設置の道程が異なり、従つて全然監督系統を異にせるに拘らず幼児保育の實際に至りては、大同小異にして殆んご同じミ云ひて差支なし、保育の精神に至りては幼稚園は幼稚園令第一條の三大要綱に準據せるも、然らざ

る者は準據すべき要綱につき監督官廳として定めたる者あるを知らず。

幼児の保育は人間一生の基礎を造る者にして所謂「三ツ子の魂は百まで」の諺の通り尤も大切な時代なり、一步を誤れば一生取り返しの付かぬ重要な教育事業を、一方は文部省で掌り一方は内務省で掌るミ云ふが如きは、人間教育の基礎的當初に於て不統一も甚しきミ云はざる可らず。

保育事業と社會事業の混同

斯くの如く我國の幼児教育は一方は教育者の手で教育せられ、一方は社會事業者の手で教育せられつゝあり、即ち教育事業と社會事業が混同せる現状にして、人間の基礎教育上に關し甚だ憂慮すべき問題なり。

昨年十一月中央社會事業協會主催の下に、全國隣保事業並保育事業協議會に於て決議されたる、法令制定經費其他

一般事項、常設保育所施設標準、臨時託兒所施設標準の概況を通覽するに、殆ど幼稚園令と大同小異なり。唯設置、廢止及従業者養成並指導機關の單簡さ、事業經費の補助金交附の要求等が異れり。幼稚園令發布日淺く未だ之が實施に基ける研究も充分ならざる今日に於て、社會事業者が保育所令を制定して、幼稚園令と對立して幼児教育を系統異なる兩方面に於て遂行する事は、國家として輕々しく實施すべき者にあらずと考ふ。何故なれば幼稚園令の條項につき熟讀研究すれば、以上の如き保育所令云々の事項は幼稚園令を以て解決せらるべき者と考ふ。

今左に參考の爲め幼稚園令の必要事項につき若干の説明を試みんごす。

「幼稚園令及幼稚園令施行規則制定の要旨並施行上ノ注意事項」(大正十五年四月二十二日) 文部省訓令第九號) 中の一節に

『幼稚園ノ設置ハ固ヨリ之ヲ任意トシ市町村、市町村學校組合、町村學校組合、又ハ私人ヲシテ必要ニ應シテ之ヲ設置スルヲ得シムト雖、父母共ニ勞働ニ従事シ子女ニ對シテ家庭教育ヲ行フコト困難ナル者ノ多數居住セル地

域ニ在リテハ幼稚園ノ必要殊ニ痛切ナルモノアリ、今後幼稚園ハ此ノ如キ方面ニ普及發達セシムルコトヲ期セサルヘカラス、隨ツテ其ノ保育ノ時間ノ如キハ早朝ヨリ夕刻ニ及フモ亦可ナリト認ム。又幼稚園ニ入園セシムヘキ幼兒ノ年齢ニ就キテハ從來ノ規定ト同シク三歳ヨリ尋常小學校就學ノ初期ニ達スルコトヲ原則トスルモ特別ノ事情アル場合ニ於テハ三歳未滿ノ幼兒ヲモ入園セシメ得ルコトトセリ、之ヲ外國ノ實例ニ徵スルニ幼稚園ニ乳兒預所ヲ附設スルモノ尠カラス、爲ニ特別ノ事情アル家庭ニ對シ便益ヲ與フル所頗ル大ナルモノアルカ如シ、右ノ規定ニヨリ三歳未滿ノ幼兒ヲ收容セントスルニハ相當ノ設備ヲ要スルコト論ヲ俟タスト雖、事情ノ許ス限りニ於テ適當ニ之ヲ實施スルハ當今ノ時勢ニ照ラシ亦極メテ必要ナリト信ス云々』

右の注意事項を熟讀する時は、幼稚園は何にも中産階級以上の住居地にのみ設置すべき者でもなく、時間は短くして午前中か又午後二時頃までとすべき者でもなし、保育料も別に何等の制限なく、年齢とても相當の設備さへすれば

ば三歳未滿の乳幼児まで收容し得る事なれり、加之將來幼稚園の普及發達は父母共に勞働に従事し、爲に家庭教育を行ふ困難なる者の多數居住せる地域に一層其必要を痛感し、斯る方面に此の發達を國家は獎勵し居れり。

之によりて之を見れば現今幼稚園令によらずして設置しある保育團體は、以上の主旨に適合しある者云はざる可らず、唯設置に關する手續上の差異竝に監督を異にせるに止まるのみ。

殊に近來國民の健康方面に自覺しつゝある今日にありては、幼兒の健康増進に留意することは國家の將來を隆盛ならしむる基礎的條件の一つなりと考ふ。然るが故に父母共に勞働に従事せる多數住居せる地域の如きは、普通衛生上の施設に缺陷多きを以て、斯る地域こそ衛生上に留意したる幼稚園を普及せしめ、保育の完全を期して幼兒を通して家庭教育の改善進歩を誘導することを目下の急務なれ、従つて斯る方面に従事する保姆は人格經驗共に優秀なる者を以て當らしむる事は一層その必要を認むる次第なるに拘らず、社會事業者の計畫せる保育所令によれば『専門ノ保姆ノ養成ノ爲ニハ中央地方ニ於テ長期ノ講習會ヲ開催スヘク、

臨時保育所ノ保姆タルモノ、爲ニハ處女會其ノ他婦人團體ノ幹部等ニ對シ各地ヲ巡回シテ短期講習ト實習ヲ行フコト云々』とある如く保姆の養成機關としては全然講習會を本意とせるが如きは一考を要すべき者ならん。

如何と云へば今日保育事業に従事せる保姆は、あらゆる點に於て小學校本科正教員の下位に置かれるを以て、大都市に於て開かれたる保育大會の都度、保姆の資格向上に待遇改善問題は滿場一致を以て可決せられ當局へ申請されつゝあり。一方保姆養成機關も今日の不備を補ひ完全の機關に改善する必要を認め、昨年秋季名古屋市中にて開催せる保育大會に於て、文部省諮問案に對し保姆養成に關する改善事項を答申せる次第なり。故に現今以上に保姆養成を低下するに於ては、保姆の資格向上並待遇改善問題の如きは全然水泡に歸する云はざる可らず。

然らば何故に現今の様に幼稚園令によらず、文部省の監督を離れ社會事業として内務省監督の許に多くの保育團體が生れたか、其原因には色々あるならんが要するに左記事項も其一つならん。

一、幼稚園令による設置上に關する手續が面倒なる事

二、幼稚園令による補助金等の援助を受ける公算が少ない事

三、監督上の色々の面倒がある事

保育事業の統一は出来ざるか

決して出来ざるにあらず、なさざるにあり。保育事業即ち幼児教育は當然文部省の主管に屬する者なり、即ち大正十五年四月二十一日勅令第七十四號を以て幼稚園令發布、翌日文部省第七十七號を以て幼稚園令施行規則發布、同日文部省訓令第九號を以て、幼稚園令及幼稚園令施行規則制定の要旨並施行上の注意事項が詳細に示されており。

元より幼児教育は初等教育の如く、義務教育で國家が積極的に維持發展を期して居るでなく、むしろ私人、自治團體の幼稚園濫設又は甚しき非教育的經營を取締らんごする趣旨に出たごしても、統轄すべき法令は前述の通り詳細に公布され、七八年を經過せる今日に於て斯くの如き不統一を見るは甚だ遺憾なり。抑々保育事業には教育事業の本領あり、社會事業には社會事業の本領がある、其本領を離るる事は大に慎まざる可らず、然るに今日に於て其不統一を尙一層深刻ならしめんとするの計畫ある事は返すくも遺

憾なり。要するに文部當事者は幼稚園令發布後の今日に於ける保育事業の發展に伴ひ、幼稚園の經營に關し夫れれ、法令を發布しながら、幼稚園令によらず保育事業を實施する事を取締らぬ事は文部省當事者の怠慢の責めを免るゝ事能はざるなり。

余の切に文部當局に望む事は、從來大に忘れ勝ちであつた幼児保育の問題は、今後の教育の最も主要なる問題であつて、大に普及發達を企圖せねばならぬ現狀に鑑み、現在幼稚園令によらず保育を實施しつゝある保育團體並に將來斯る特殊の事情の許に發生する團體に對しては、設置上の手續其他に關し相當の考慮を拂はれる事を望むご同時に、保育上の監督は幼稚園令によるご、否らざるごに拘らず、全然文部省の統轄の下に置くべき者なるを以て之も實現の早からん事を望む次第なり。

然る時は幼稚園の普及を妨げる事も憂慮する向もあらんが、決して憂慮すべき問題でない、現在幼稚園令によらず保育を實施せる團體に對しては、保育即ち教育以外ごし社會事業的諸施設等に關しては從來の通り内務省の監督に置く事も差支なき事なり。若し現行の法令にして不都合の點

あれば研究の上でシ、改正を加れば可なり。斯の如き處置に出るに於ては別に社會事業團體が殊更に保育所令の發布を計畫する事は其必要を認めざるのみならず、保育の統一も何等困難の問題にあらざるなり。

統一上よりごんな利益が生ずるか

現在の如き不統一の下に保育を實行し來れる結果蒙れる不利益も少からず、其一例を擧ぐれば同一市に於て市立幼稚園に服務せる保姆は恩給の恩典に浴するも、市立託兒所に服務せる業務は大同小異なるも、日々くの疲勞の程度に至りては託兒所の方が遙に大なり云はざる可らず、斯る不公平の取扱を受ける事は單に監督系統の異なるによる者云はざる可らず。融和問題の議論せらるゝ時代に於て、託兒所を殊更に特殊の居住地に設ける如きは一方に於て融和の必要を論じながら一方では之を破壊するが如き觀なき能はず、又其處に收容せる幼兒に對しても、幼稚園と呼ぶのミ託兒所と呼ぶのは其間異種の觀を呈するもので幼兒時代のから、ひがみ氣分を助長するの結果を來す恐れなき能はず、故に幼稚園ミ命名するを適當ミ考ふる所以なり。

結論

要するに保育事業の現状は、幼稚園令によるミ然らざるに於て保育の實際は大なる相違を認めざるも、各種が區々なるのみならず、施設に至りても一定の標準なし、都市に於ては往々非衛生的の施設は發育旺盛なる幼兒の健康を害する者あるを見る、從て保育時間にも影響を及すミ少なからず、故に國家は幼稚園令の許に保育事業を統一する事に根本方針を決定し幼稚園令によるミ然らざるに拘らず、全國に互り現在の保育施設を調査し、其結果に基き保育の實情に鑑み、幼稚園令に改正を加ふべき點は改正し、保育施設上の缺陷は適當に之を矯正し、從來往々誤解され勝ちの保育事業は教育事業である點を充分に徹底せしめ、幼兒教育も初等教育に準據し相當の補助を與へるミ共に義務的教育ミ迄は行かざるも其精神を充分に徹底せしむる方法を講じ以て忘れ勝ちの幼兒教育上に一大革新を企圖するの必要を認むる次第なり。

以上は一に保育事業の將來を祝福する信念より已むに已まれず意見を述べた次第なり、故に他に適當なる御意見あれば御教示を切望する次第なり。

夏期幼稚園に就いて

目白幼稚園 和田 實

本年の梅雨は、比較的雨が少くて、暑熱は日々に加はり、保育は日増に困難なつて來ました。早く暑中休暇が來ればよいと、私共の様なデブには休暇待望欲が盛んであります。併し考へて見るに、何も暑中休暇が來たからして、子供の生活其ものには何等變りはないので、暑休中は生活を中止しますと、云ふ譯には行きません。學校は講義を休み、御役所は仕事を休んで居られますが、子供は保育を中止する譯には行きませんので、幼稚園が休みになつたて、子供には休む可き何物もないのであります。夫れで、「暑休中の保育」と云ふものが問題となるのであります。両親に連れられて、田舎に歸省するとか、海岸へ避暑するとか、云ふ種類の子供は夫々生活狀態の變化する所に暑休中の保育が新らしく有意義に行はれますが、何處にも行くこ

この出來ない子供は、實に、氣の毒な程、暑休中の生活其ものを持て餘すことになります。之れは保育者として、常に、心掛りな事であります。夫れで、私も從來、夏期幼稚園の催ふしを數回試みたことがありました。併し、考へて見るに、いつも不完全極まる保育で、満足が出來ません。近來は此主意を擴張して、林間幼稚園や、臨海幼稚園等の企てをする向もあります。何れも、暑休中の保育を解決する方法として、結構なことだとは思いますが、其保育内容こそは夫れ／＼問題になることだらうと思ひます。夫れで、今是等の各種幼稚園の保育内容に就いて、計畫上の注意を要する諸點を調べて見やうと思ひます。

一、普通幼稚園に於ける夏期幼稚園

普通幼稚園に於ての夏期幼稚園は屋内屋外共に一人當り

の面積が平日の面積よりも広い面積を子供に與へるこゝが出来るので、子供は家庭に於けるよりは一層、保健的境遇に恵まれるには相違ありませんから、此點は誠に、都合よいものでありますが、併し、保育事項の材料が、何等平日と變りがないと云ふこゝが不都合であります。何故と云ふに、平日の保育材料はいくら保育者が注意するにしても、現在の保育状態では、兎角、小學校の積古めいて居て、暑熱の際の保育には適しません。夫れ故にこそ、暑中休暇の必要があるのであります。故に、普通一般の幼稚園に於て、夏期幼稚園を計畫するときは、何うしても第一に用意せねばならぬこゝは、平日の保育材料を大體捨て去つて、特種な夏向きの材料を輸入するこゝであります。尤も、砂遊びは平日通り必要でもあり、又特に、平日よりも大袈裟に行ふこゝが必要でありますが、其他の作業は大體暑中に適しません。夫れで、夏期幼稚園の保育材料としては豊富な砂と水、豊富な野菜類、豊富な昆蟲類とであります。是等の材料を充分に輸入するこゝに因つて、夏の幼稚園の手法は平日と異つた状態に於て、避暑的に、忘暑的に、時には

避暑的に行ふこゝが出来ますが、是等の材料が充分でないに徒に暑熱が子供を苦しめるばかりであります。

夏の幼稚園の保育時間は、朝の八時頃から始めて、午後四時頃に終るのが、適當であります。従つて、晝食一度の間食は何うしても幼稚園で新鮮な材料を調理して給與せねばなりません。此場合辨當を持參させるこゝは適當な方法ではありません。若し、止むを得ずして持參させるこゝしたならば其内容は嚴密に注意して、子供に與へる必要があります。次に、設備を要するのは晝寝の仕度であります。是は平日は不必要なものでありますが、夏期幼稚園としては必要不可欠からざるものであります。日光の差し込まぬ風通のよい靜かな部屋を選んで、之に當てる可きでせう。寢具は寢臺に毛布ですが、止むを得ずんば疊と敷布圍と敷布毛布と枕とを用意したら、よいでせう。晝寝の時間は午後の一時から始めて早く起きるものは二時長く眠るものは三時頃迄寢かせば充分であります。起きたら顔を洗ひ汗を拭つてやつて、適當な間食を與へるが、順序でせう。そして、夕涼を待つて、歸宅させると云ふのが、尤も、適當な

様です。費用としては晝食料十錢間食料五錢保育料十錢で一日少くも二十五錢要します。即一週分一圓五十錢です。

二、林間幼稚園

夏期林間幼稚園の経験は、私にはありません。従つて、充分なことは述べられません。臨時に、子供を神社の境内や附近の森に連れ出した経験等から考へて見るに、第一に位置の選定には大部、悩まなければならぬと思ひます。若し、雑木林の様な喬木の無い林間を選んだら、必ず、暑熱と小蟲に苦しめられて、飛んでもない失敗に終るでせう。林間幼稚園としては何うしても鬱蒼たる喬木の多い大きな森林を選ばねばなりません。然も其森林は成る可く面積の廣い所で、保育場は其中央に位置するを要します。保育の時間は勿論、朝八時頃から夕方四時頃迄は是非必要です。之を其場所に毎日通ふとも、又は附近の家に宿泊するとも、又は完全なテントの設備をするとも、しなければなりません。若し、テントの設備が出来れば晝寝には兼用出来ますから便利です。保育材料の設備は自然物方面には事缺かず豊富に得られますから、後は砂と水とが豊富にあれ

ば充分に夏向きの保育が出来るとせう。尙ほ其上に、朝食前の附近の散歩や夕食後の螢狩などは一層、面白い保育をする事が出来るでせう。是等の外には、蓄音器、ラヂオ、活動寫眞等は携帯す可き設備の重なものでありませう。又、生活管理としては毎朝の検温診察は不可缺の仕事で、其記帳なごも、不可缺の事務でせう。子供の就寝後は不寝番を置くごも必要な事務です。従つて林間幼稚園の職員としては園長、保母は勿論の事、看護婦、炊事夫、雑役婦等を要します。看護婦以下を皆、保母が兼任するごしたならば保母の数は子供五人に一人位の割になれば完全に仕事を運ぶ事は出来ません。そしてまさかの時の用心に附近に然る可き醫院のあるごを要します。費用は子供一人の食事費一日五十錢乃至一圓(場所の如何に因つて材料の獲得に便否があり従つて物價の差違が烈しいのです)。保育費十錢職員費子供一人宛負擔二十錢子供五十人として子供一人一日の費用は八十錢乃至一圓三十錢を要します。

三、臨海幼稚園

臨海幼稚園は海水の清潔で遠淺な所で、附近に適當な大

きさの家か又は喬木の多い林間を要します。元來夏の海岸は暑さの殊に酷しいものですから、幼児の生活には不適当なのであります。之を無理に幼児の生活に取入れやうと云ふのですから、日中の暑さを凌ぐ適當の設備が充分でなければ、子供は必ず暑熱の爲めに、消化不良を起すに極まつて居ます。之を防ぐ爲めには日中の最高暑熱を避ける涼しき設備を要します。即ち、晝食後三時頃迄は屋内なり、又は、大テント内なりで涼しく過ごさせなければなりません。海濱の遊びは朝食前と午前中と夕食前とで充分であります。海岸に於ける遊びは、砂と水と貝とに恵まれて居るので、保育材料は無盡藏にありますから、いくら遊んでも倦きさせる様なことはありません。尤も遊び道具は相當に持つて行くことが必要です。箱庭道具、砂堀用具、舟などは最も入要なものでせう。費用は林間幼稚園の時と大差がありませんから略します。

四、高山幼稚園

前に述べた三つの夏の幼稚園は何れか云へば避暑的方法と云ふよりは寧ろ避暑的方法でありますが、高山幼稚園

は完全に避暑的幼稚園であります。東京附近では箱根山上の箱根宿又は信州の輕井澤附近などが最も適當でせう。斯る高山の上又は高原では日中は多少の暑さがあつても朝夕は涼しくて、生活は實に、樂であります。幼児を保育するには申分ありません。此點では鹽原、伊香保、那須などは充分な避暑幼稚園の場所ではありません。

高山幼稚園の保育は大體に於て林間幼稚園の夫れと大差ないものであります。費用も大差ありません。是は場所の選定さへ出来れば保育上の困難は殆どありません。寧ろ色々變つた所で、珍らしい保育材料を使ふ事が出来て、幼児の興味をそゝるこの効果は大したものであります。夫れに保母は暑さの鬨ふ苦惱が、極めて少ないので、保育は實に樂々進行します。夏期幼稚園の王様も云ふ可きものでせう。唯、注意す可きは子供に風を引かせぬ様に心を配る事です。うつかりする子供に風を引かせてしまひます。以上四つの夏期幼稚園は從來、屢々試行せられたものが、まだ充分な報告材料がありません。此夏には是等の實驗報告が「幼児の教育」誌上に得たいものであります。

夏の幼稚園を前にして

——(麹町教育會主催のもの)——

檜 山 京

「夏の幼稚園」といふ名目は、小學校に於ける夏季林間學

校又は臨海學園の様に、虚弱兒童の健康増進を目的としてゐるのではありません(勿論健康に就ては實際大に顧慮するのですが)都市の幼兒を危険な非衛生な路傍の遊びから救ふのであつて事實にあてはまる様に申せば「夏季託兒」といふ事になります。編輯室からは「夏の幼稚園の注意に就て一筆せよ」と承つたのですが、既に「夏の幼稚園」に就ては度貴い紙上を汚して居り又託兒に就きましたは専門の先生方から、よい御注意を紙上で拜見して居りますので拙筆を並べる隙間は無いように思ひますが、是非にこのお話に依り、一、二、三回の實驗の結果夏季なるが故に特に留意した又今年もしようとする點一、二、三これまでの経過に鑑みて今年は變へようとする事に就て記し御批判を頂き度いと思

ひます。

1. 身體的方面

○毎朝玄關に二人以上の保姆が居て登園の幼兒の顔色眼の色に異状なきかを調べ、檢温(今年から)を致します。

○遊ぶ時に元氣か、何もなくだるさうでゴロ／＼する事はないか、を常に留意します。

○間食や食事をよく食べるか、いや／＼か、又は残すか(好き嫌の爲のは例外として幼兒が間食を残すのは、よく、で、大抵は何處かに多少の身體的異状のある時か又は其前兆と思はれます)。

○晝寝の眠り方(眠るゝ咳が出る、嘔をかく、夢を見て起る、深く眠る等)を時間の長短を記録します。

○お辨當は時節柄、梅干入りのおむすび、又はごまほむすびに澤庵を二片位云ふ約束なのですが二週間目あたり

から少数ですが時々お菜が入つて來ます（子供が、あきるからこいふ理由の下に）鯉節にお醬油をかけたもの、海苔のつくだに等は危険が無いにしても、野菜、魚類なきは一應注意をしなければなりません。費用をこつてもよいかから給食にするようにこの希望も少数ありましたが、これは設備、費用、人手の関係もありますので實現して居りません。

○空氣浴と日光浴は衛生顧問のおすすめに従つて園の内外ともに奨励して居ります。腹部を冷さないようにして其他の皮膚を出来る丈け露出させます。

○けれぎ、人工紫外線浴にしても度を越すミ害がある云はれ太陽にしてもあたりすぎれば日射病こいふ事になりますから日なたで遊ばせるミ同時に日蔭の有無も留意しなければなりません、これは園内ではさう困る事ではありませんが、園外へ出る時に豫め調べて置かねばならぬ事です。

○なほ夏季に園外につれて出る爲に特に留意する事は日なたに出ますミ湯を訴へますから、適當な飲料水の供給法

（水筒の水は時によるミ栓の洗ひが足りない爲に腐敗する事もあるので）を考へねばなりません。市内で水道の得易い所なら空の藥罐を二つ位（人数によりて數は違ひます）用意し何處でもこれに入れて配ります。公園なきにたえず湧き出てる水は三十人の咽の乾いた幼児の一人一人をなるべく同時に満足させるには、少し不便の事があります、あれは一度に一人しか飲めませんから一番後で待つ子はたまりません。湯呑みは各自が持つてるますから藥罐のくみ立ての水ミ兩方ですればよいと思ひます、そして一人の子が何杯（一杯か二杯のんだかこいふ事は必ず心に留めて置かねばなりません。其點では藥罐は二個でも汲む人は一人で兩手でする方がよい様です。

○其他手洗水（これは平常もさうですが）、終日居るならば晝寢の場所等豫め調査して置かねければなりません。

○間食はお辨當に副食物を缺いてゐますから第一材料のよいもの第二に低廉な品でなるべくは一般幼児の好みにあふもの量はさちらかミ云へば少量にしてゐます、週豫定表を作り、キャラメル、ドロップ以外のビスケットパン

類は前日注文して出来立てのをを用ふ様にして居ます。

2、保育の方法。

ただ居てさへ身體が飴の様にのび易い暑さの折からであるのこ、先生方も平常よりは経験の少い方々であり、幼児も團體的訓練を経ない者が短時日を共に暮す事故平常はあまり使はない時間制を用ひます。

八時十五分まで 検温

八時三十分——八時四十五分 ラジオ體操

九時——九時三十分 組の遊び(唱歌遊戲等手

技

九時三十分——十時 自由遊

十時——十時三十分 午前間食ミ其準備

十時三十分——十一時三十分 ゲーム又は水遊び

十一時四十五分——十二時半 晝食ミ其準備後片附け

十二時三十分——一時半 午睡

一時三十分——二時半 水遊び又は人形芝居お話

等

二時四十分——三時

午後間食ミ其準備

三時——三時十分 歸宅ミ其準備

右の時間は天候や氣温、幼児一人の特別な状態又其他に依つて勿論多少の變更はあります殊に全兒園外へ出る時又或組が園外に出る爲保母の病氣等に依る變化も當然の事でありませぬ。

3、これまでの實際を顧慮するに日曜日の翌日は、日曜に他出して食へすぎる爲、又疲れる爲に缺席が多くそれも身體の故障が大部分になつてゐました、それで今年には保母の方は努力を加へて日曜日を休まぬ事にして見るつもりで居ります。なほ經費が許されれば郊外へ出る度數をずつミ増し度い希望で居ります。

4、募集ミ申しますか「夏の幼稚園」開催の知らせは先づ各町會長あてに「加入のすゝめ」さいふ刷物をそへて希望者に分けらるゝ様に依頼しそれに昨年は幼児の描いたポスターを町内の所々に貼つていただいたのですが、今年は人數が多すぎる困難からポスターはあまり用ひません。

夏の幼稚園保育衛生

醫學博士 廣 瀨 興

夏の幼稚園は種々の異つた方法で行はれるであらうが、今假りに臨時の林間、又は海濱の幼稚園に於ける保育上必要な衛生的注意を述べて見よう。

一般的注意

夏期は温度が高く、且つ湿度も高い故に常に吾々の周囲をよく濕氣から防がねばならない殊に雨降りなどはよく入浴せしめ、乾いた着物を與へ、室の通風に氣を付けることが大切で、夜、寢所は上の欄干を開放すること、尙、窓を夜間開放する習慣が出来れば一層結構である。唯曉方急に寒氣が襲つたり、霧の多い山岳地にては特に細心の注意が必要である。温度、湿度と氣流の三要素が適當の比例でなければならぬ。正確に云へば無風の室内の最も健康によい時は、濕球計五十六度(華氏)で、若し湿度が昇つて同六十五度になれば氣流が一分間五百呎にならなければならぬ

いこと云ふ割合である。

次には榮養のことであるが夏は一般に暑さのため淡白のものを好み、殊に好き嫌いの起り易い幼児期であるから、脂肪やビタミンAの類が缺乏して、夜盲症やフリクテン性結膜炎(ホシ目)を起し易い。魚肉や脂肪分を食べ易く調理する様苦心をする。天ぷら、支那料理、マヨネーズ、鰯の料理等適當である。海濱の生活であるならばこの際に貝類、海藻類、小魚類を好んで攝るべきである。斯る共同食のき平素の偏食を矯正する様努力すべし。

夏期に於ける最も大切な衛生上の收穫は日光にあたることであるから成るべく裸體の生活をなさしめ、充分に日焦けさせ薄着の習慣の準備をすること、秋寒むきなつても厚着せぬ様せねばならない。冬期、寝るき肌着を脱がぬ習慣の小兒は夏期より注意するがよい。乾布摩擦や冷水摩擦

は今より行ふべし。冬期、シモヤケの出来き易い小兒は充分に日光にあてること。素足で遊ばせることも忘れてはならない。

必要な醫療器具及藥品

林間や海濱の保育には其場所、方法によつて異なるが最小限度の必要なものは次の如きであらう。體溫計（示度正確を豫め確かめよ）、灌腸器（二〇瓦）、氷囊、懷爐、綿棒、ピンセット、舌壓子、洗眼器、濕度計、繻帶、ガーゼ、脱脂綿、絆創膏、藥品としては、重曹、胃腸藥、マイクローム（又は沃度丁糖）グリセリン、オキシフル、オゾ（又はメソソレタム）ピチロール、亞鉛華、オレーフ油、ミチガール、食鹽、石炭酸亞鉛華糊、リゾール水、アルコール、アノモニア、硫酸亞鉛水（〇・二%）流動石炭酸、保土ケ谷液、芥子、硼酸等。

出發前の注意

百日咳、麻疹經過の有無を確かめ置くこと、ピロワクチン（赤痢、疫痢の豫防藥）を服用せしめ、又、ヂフテリーの豫防注射も大切である。林間海濱の場所選定はその保育の効果の上に重要な關係があるから充分豫め研究すること。

飲料水の良形で豊富のこと、平素傳染病の少きこと、危険の恐れなき處特に海岸は波の靜かな、砂濱の充分あるを好みます。林間は沼地はよろしからず、斷崖等のなきことが必要である。

應急處置

目的地への旅程が數時を要する時は必ず到着後二三回は粥食か軟食を與へること、食慾にまかせて硬き普通食を與へれば必ず一齊に下痢を發生させるであらう。列車中でのおやつは不潔になり勝ちであるから注意すること、食料水を自參するがよし。到着後は一兩日は必ず生水を與へざる様になし、少し馴れてよりは生水を與へる方がよい。

宿所の便所の清潔は大切で一應生石灰の消毒をなすべし。手洗水を充分にそなへ置くこと。

ヒキツケの時は取敢へず、リスリン水二〇瓦以上で灌腸を行ひ、その原因が不消化物の攝取のための如く略々判明する時はヒマシ油二〇瓦を飲用せしめる。頭部冷却、衣服を直ちに緩めて安靜にする。疫痢の時もヒキツケを以て發病する故注意が肝要である。疫痢の誘因は多くは不消化物の食へ合せが多い、例へば蜜豆こ天ぷら、バナ、こ枝豆等

の如く、一種では平常は何等障りなきにも拘らず發生すこ
まが多い。今迄元氣に遊んでゐた小兒が急に脱力して生ア
クビしてゴロ／＼寝ころび元氣がなくなり、嘔氣嘔氣して
發熱するが如きときは直ちに注意を要する。

腹痛、最も多いのは蛔蟲であるから豫めセメンエン、マ
クニンを服用せしめておくこまはよい。蛔蟲の時は食事に
無關係に又は食事の途中、突然に輕痛を訴へるのが普通で
ある。幾分、平素惡心のあるこまもある。

腹痛で殊に注意せねばならぬこまは盲腸炎(蟲樣突起炎)
と腸閉塞症で、前者は臍部と右腸骨前上棘とを結ぶ臍棘線
の中央を腰すこ臍部の方に放散する劇痛を訴へる之をマッ
クバーネ氏壓痛點と稱し本症の特徴の一つである。即ち右
下腹部であつてこまに硬結を觸知するこまがある。腸閉塞
症は痛の劇烈なるこま最も甚しく、鎮痛劑の注射にても效
のなきが普通で、嘔吐、甚しきは胆汁を吐し或は糞臭吐物
を出すに至る。又、腸ガスを全く排出せず、便通もなし。
腹部は膨滿し外部より腸蠕動が判る。熱は初めは無かつた
り、有つたりする程度である。斯る時は一刻も早く開腹術
にて閉塞部を修復せねばならぬ、若し數時間放置すれば必

ず患部よりの一種の毒素のため心臓麻痺を來す。本症と
痢とは最も急速を要する疾病で保護者の應急手當の如何が
豫後に重大の關係を生ずるのである。

日射病 豫め日中の外出炎天の遊戯の時は充分冷水を飲
ましめ置くこま、薄衣緩衣が必要である。極度の空腹を排
ける、キャラメル、チョコレート等の甘味を適當に與へる
こまも良い。海水浴の歸途、よく日射病を見るのは空腹と
水分缺乏が誘因である。

切傷スリ傷は程度にもよるが初め内部より漿液の出る
時期に軟膏や伴創膏で閉鎖するのはよろしからず、成るべ
くそのまゝ、マイクロクロム又は沃度丁幾塗布せるのみ
の上に乾燥消毒ガーゼを貼布して度々交換するがよし。マ
イクロクロムは近時實用せらるゝ創傷劑にて強力殺菌
發生を促進し、且つ小兒にても刺戟せず、眞に理想に近い
力と肉芽家庭の常備藥品である。

汗疱(あせも) 紅斑小泡の時はシッカロール、亞鉛華澱粉
を撒布し、少しタグレを生ずればグリテール亞鉛華オレ
フ油を塗布すれば快癒す、頭部、指趾の濕疹も同様である。
水蟲も、グリテールにて良い、甚しく慢性なればレント

ゲンを照射せねばならぬ。

ハタケ、タムシは海水浴後好發する故、よく浴後清水にて洗ふこみが肝心である、生じたなればテール膏を薄く一日一回塗布すべし。

蚤、蚊の刺傷は石炭酸、亞鉛華リニメントを塗布、蕁麻疹も同様でよろしい。但し本疹は特異質があるから苦心を要する。

火傷は初め亞鉛華オレフ油を塗布し、水泡を破らざる様にする。次で亞鉛華軟膏を貼布して漸次乾燥に導く、甚しき時、日光直接照射も效がある。

結膜炎、海水浴は多く結膜炎を生ずるから浴後清水か硼酸水にて洗眼し、毎夜就眠前、〇・二%硫酸亞鉛水の點眼を勵行するが良し。眼瞼のタヴェルには五%ピオクタンニン水塗布。

耳滴豫防に海水浴後オキシフルの耳の清拭がよい。紙よりの耳掃除は危険である。中耳炎の時は耳翼の後部の骨の隆起せる部に壓痛があるのが特徴である。其疑ひのあるときは直に耳部を冷却せよ。耳下部の腫脹は耳下腺炎にし

て之もエキホス等を塗布して其上より冷罨法をする。

齒痛の時は食物の残渣を除き、一〇%位の濃き重曹水にて合嗽せしめ尙、止まらざれば周圍の皮膚粘膜に解れざる様、その齧齒孔に相當する小脱脂綿に硫動石炭酸を浸して挿入せしめる。

骨折の如きは成るべくそのまゝ、副木(經木、薄き板、竹の棒等)を副へて醫師を待つ。

大出血の時はその部の心臓に近き部を壓迫して止血を試みる。その出血部をガーセ等にて壓迫繃帯をする。

人工呼吸 溺れた時は衣服を緩め水を嘔しめ、仰臥せしめ背部に枕の如きを置き、胸部を充分呼吸に便ならしめて術者は兩手掌を胸部の兩側に當て後上方に一分間二十回位の割合に壓上せしめ空氣の胸腔内に侵入する様に試む、又は兩上肢を頭上に廻轉舉上して呼吸せしめてもよい。一二時間行つて始めて效の現れることあり。心臓部を輕打して刺戟を與へる。ブドー酒服用、芥子貼布も行ふべきである。以上は夏の轉住幼稚園に必要な醫學的知識であつてその方法の如何によつて加減し、充分夏期保育の目的を達せられ度きものである。

八・九月の觀察

堀 七 藏

一、水遊び

一、夏は幼児に水遊びをさせるには好適である。幼児は水遊びも砂遊びもを終日やつてゐてもあきない位である。水でも砂でも幼児の思ふ儘に形を變ずるから面白いのである。殊に水はいろいろな遊びを行ふこゝが出来ゑる。茶碗の如き器物に入れたり流したり、噴水をさせたり、積木を洗つたり、如露で水を庭にまいたり、舟を浮かべたり、人形や鳥を浮かしたり、葉つばの舟を沈めたり。幼児に水遊びをさせるに、實に餘念がない。強いて實驗であるに、何か、何にか理窟を述べ立てる必要がない。幼児が水遊びをなす間にいろいろの経験をなしてゐるものである。その間に研究的な實驗なきを行はせるなきを稱していろいろの束縛をする必要がない。思切つて幼児に自由に水遊びをさせるだけの

雅量が大人にあればよい。特別な水遊びの玩具なきを與へる必要もない位である。

二、幼児は裸になつて何等の危険なく入るこゝの出來る浅い池さか小川があれば尙更申分がない。水の中に脚を入れてザブ／＼水を渡るだけでも、兒童には夏でなくては出來ない經驗である。手を突込むこゝの出來ない金魚鉢をながめさせるこゝは、幼児にこつて不向である。幼児には手を突込んでかきまはしたり、つかまへたり、いろいろにするこゝが出來るに申分なく面白い。それで小川で雑魚をりさせるこゝが出來る幼稚園では、思切つて幼児を小川に自由に入れて遊ばさせるだけの寛大なる處置が望ましい。幼児はその間にいろいろ面白い経験をなすこゝが出來る。小川に橋をかけたり、堤防をこしらへたり、ふなやび、ぜうをつかまへたり、めたかをすくつたり、いろいろさせるこゝ

が夏の幼稚園に缺くべからざる観察作業である。

三、また砂濱で砂遊びも水遊びもをさせることもこの上のないよい観察実験である。保母も大人も幼児の水遊びや砂遊びを自由にさせ、共に遊ぶがよい。その間にいろいろな理窟をぬきにして實驗的な作業をさせるがよい。勿論幼児は遊びのための遊びで、別に實驗するための作業でない。

唯幼児の欲するが儘に、いろいろの遊びをさせ、水も砂もによつてのいろいろな經驗を豊富にさせねばない。海岸の砂濱に山をつくり、寄せてはかへす波も共に戯れる幼児は、その間にいろいろの體験をしてゐることを認めねばならぬ。

二、砂遊び

一、砂遊びをなす間に、砂についていろいろの經驗をなすことは驚くべきものである。砂は水と異なり、自由に立體的な物を表現することが出来るから、砂遊び位、幼児にまつて楽しいものはない。殊に夏は海濱の砂中に裸體を没して思切つた砂遊びが出来る。砂も水も自由に使つた砂遊び

は夏に於て思ふ存分行ふことが出来る。幼児が海濱で、二十日でも三十日でもあくここなく暮すことが出来るのは、専ら砂遊びも水遊びもが自由に出来るからである。毎日毎日あきないで、よくも砂遊びが出来るものさ感嘆せざるを得ない位である。

二、それで小川に幼児を伴つた場合には、いろいろの奇麗な小石を集めさせる遊びも面白い。青い石、赤い石、丸い石、筋の入つた石、白い石、黒い石、光る石、すき通つた石、燧石、子持石なごも、いろいろ小石を捨ててそれをくらべさせてもよく、また分類させてもよい。茲にいふ分類は大人の如く、水成岩ださか、火成岩ださか、また石英さか長石さかいふやうな學術的な分類ではない。白い石、赤い石、細長い石、圓い石、硬い石、軟い石、すぢのある石、ない石、字の書ける石、書けない石さいふやうに、いろいろ幼児がくらべて幼児が出来る分類をいふのである。

三、はす

一、里芋の葉でもはすの葉でも、その上に水をこぼすこ

玉ミなつて面白いものである。

はすは水生植物である。池、沼なきに生ずる。莖は水の底の泥の中に横はり、甚だ長くして所々に節がある。蓮根ミ稱して食用にするものは、この莖の太く肥えた部分である。泥の中にあるから根ミ思ふのは誤である。この莖の内部には縦に通れる多くの孔がある。そしてこの孔の中は空である。根は莖の節から泥の中に出て、細くして数が多いのである。

はすの葉は大きくして固く、その下面の中央に長い柄が連なり、柄の下端は泥の中で莖の節に着いてゐる。多くの葉は柄の上部ミ共に高く水の上に出る。しかし中には柄が水の上に出でずして葉の面が水面に浮んでゐるものがある。葉の柄には多くの針がある。この柄の内部には中の空である多くの孔が縦に通つてゐる。葉の面には多くの脈が中央から出で、多少分れて周圍に向つてゐる。はすは水生植物であるから、葉が水にぬれないやうになつてゐる。水蓮なきを比較して觀察させるもよい。蓮でも里芋でも、ミは熱帯産の植物であり、強い雨に打たれても、水が球ミな

つて流れ落つるやうになつてゐる。

二、はすの葉は秋枯れる。莖の先の二三の節の間は養分を貯へて太く肥え、冬を越し、春になるミこれから新しい莖が伸び、枝を分ちて泥の中に蔓り、上方に多くの葉を出すものである。それではすの莖は多年枯れるミがない。

三、はすは八月頃大きな花を開く。花は水の上に高く出でた長い柄の上端に一つづゝ着き、紅色又は白色である。花の柄の下端は泥の中で、莖の節に着いてゐる。柄には矢張多くの針がある。また内部に、中の空である多くの孔が縦に通つてゐるミも葉の柄ミ同様である。この莖をちぎるミ細い絲が出るので面白い。

はすの花には多くの花瓣があつて幾重にも並び、外側のもは次第に小さい。花の最も外側にある幾枚かの小さい花瓣の如きものが萼である。それで花瓣ミ萼ミが明白に區別出来ない。

花の内部には多くの雄蕊がある。花の中心には一つの大きく突出たものがある。その上面は平で廣く圓く、この所に多くの凹ある孔がある。この孔の中には一つづゝ雌蕊が

ある。この突出たものは、花の柄の先が花の中に伸びて太くなつたものである。そして雄蕊、花瓣、萼はこのもの、周圍に着いてゐる。

はすの花は夜つぼんでゐるが、朝早く開く。香があるので蟲が飛んで来る。花が散つた後、その中心の突出たものは雌蕊と共に成長して著しく傾く。雌蕊は橢圓形の果實となり、後離れて水中に落ちる。果實には一つの種子があり、この種子が所謂はすのみを稱して食用にせられる。

はすでも水蓮でも、またくわんでもかうほねでも、また金魚藻、浮草の如きものでも、或は里芋なきでも觀察させるがよい。

四、あさがほ

一、あさがほでも、ひるがほでも、また夕顔でも夏の觀察材料として申分がない。單に觀察させるだけでなく、寫生させてもよく、また花や葉を畫用紙で切抜かせるもよい。

二、あさがほの莖は細くして甚だ長く、物に卷附いて昇る。

その巻き方は一定してゐる。若し吾人の周圍を卷昇るものみすれば、莖は吾人の前面を右側より左側に向けて進むものである。この巻方を左巻といふ。故にあさがほの莖は左巻である。藤の莖の巻方と比べて見るがよい。またひるがほや夕顔なきの莖の巻方を檢するがよい。

あさがほの葉は柄で互違ひに莖に着き、多くは中央と左右との三つまたに分れて尖つてゐる。葉の本には深き切込がある。莖及び葉には多くの毛が生じてゐる。

三、あさがほの花は葉の莖に着ける所の内側から出た柄の先に着いてゐる。

萼は綠色で五枚に分れ、その先が細く尖り、本の方の外面に多くの毛がある。花瓣は大きく美しくしてじやうごの形をなす。これは五枚の花弁の全く相合して成れるものである。花の直径を測つて見るがよい。また花瓣の色を一つ／＼兒童に言はせるがよい。色の辨別練習になる。

花瓣を裂き開いて見るに、その筒形の所の中に五本の雄蕊と一本の雌蕊とがあり、雄蕊の本は花瓣を相合し、雌蕊の本は丸く膨れて花の底に着いてゐる。雌蕊の著ける所を

環の如く圍める黄色のものは蜜を出すものである。

あさがおの花は朝開いて間もなく凋む。蕾のさき、花瓣の上部は五方より疊まれて、ねぢの如く巻いてゐる。そしてその巻方は莖の巻方と異なつて右巻である。ひるがほや夕顔の花とあさがおの花とくらべて観察するがよい。

四、あさがおの果實は球形をなし、萼にて圍まれてゐる。

果實を切開いて見るに、皮は薄く、内部は中心より三方に向へる膜によつて三室に分たれ、各の室に一つ二つの種子があつて中心に著いてゐる。果實が熟すれば、皮は乾いて白茶色になり、後三つに裂け開き、種子は散落ちるものである。熟した種子は普通黒色である。

五、あさがおの種子を春蒔かして置けばまことによい作業である。あさがおの良種は幼児が栽培するに適しないが、普通のものは幼児にもよく栽培出来るからである。

五、貝殻と海藻

一、海岸に幼児を引率することが出来るいろいろのもの、を観察させることが出来る。いそぎんちやくでもかいめん

でも、またやぎかりでもかにも、いろいろの貝殻も澤山ある。またいろいろの海藻がある。

二、貝殻はいろいろの種類を拾はしめてそれを分類させるがよい。また海藻は多く採集したならばこれを標本とみなすがよい。これは幼児には六ヶしくて出来ないが、幼児に手傳はせて大人がやるさよい。先づ採集した海藻を淡水を入れた盥さか金盥で洗ふ。そして水中で形よく廣げて、その下に畫用紙を入れて海藻をすくひ上げるのである。するさ海藻は畫用紙に廣けられた儘附著してゐるから、それを新聞紙に挟む。尤も海藻の上には寒冷紗の如き布片を置いて新聞紙に附著することを防がねばならぬ。かゝる海藻を重ねて上より押石を載せて押すのである。新聞紙は一日二回も取替へて水分を除かねばならぬ。

三、海岸にゐる蟹は多くはべんけいかにである。蟹はるびに似た動物で、多くは水中に棲むが、陸上に棲むものもある、かこの腹は甚だ小さくして前方に折返り、頭と胸とより成れる部分の下側に隠れてゐる。脚は十本あつて頭と胸とより成れる部分の下側に著いてゐる。十本の脚の中で最

も前の二本は先が強い鈍きなり、食物を捕へ又は敵を防ぐ用をする。他の八本は長くして歩む用をなし、又は扁たくして泳ぐ用をなすものである。蟹の横匍き稱し、かに横に匍ふものである。蟹の眼は柄の先にあつて、柄で自由に動く。

四、かにの一種にやぎかりがある。やぎかりはかにの一種であるが、巻貝を殺してその貝殻の中にひそむ。貝殻が小さくなるこ、大きな巻貝を殺してその貝殻の中に入る。やぎかりを捕へてその匍ふさまの有様を観察するがよい。

六、水中の小動物

一、小川に棲むふなでもめだかでも、またあびでも観察の材料となる。またふもりでもけんごらうでもあめんぼうでもみづすましでも観察の材料となる。またぼうふりでも蚊でも蠅でも夏観察せしむべき小動物である。更にかなぶんぶんの如きものでも、またてんこうむしでも、更にかまきりでもあぶなぎでもよい観察の材料である。

二、けんごらうは稍々大いなる黒き蟲である。頭・胸・腹は

幅が廣い。類には二本の細長い觸角が出てゐる。頭の左右には一つづゝ大きな眼がある。口には左右より向ひ合へる強い顎がある。

胸の上側には四枚の翅が著き、前翅は厚くして堅く、後翅は薄くして廣い。常に後翅を疊み、前翅でこれを覆ひ、前翅は上側の中央で左右互に相接してゐる。そのまきけんごらうは卵形にして、扁たき堅き滑な、恰も翅のない蟲のやうに見える。胸の下側には六本の脚が著き、最も後の二本は前の四本よりも遙かに長大にして扁たく、これに多くの長い毛が生じてゐる。

けんごらうは池、沼なきに棲むものである。最も後の二本の脚で、水中を泳ぎ、小さき魚又はかへるの子なぎを捕へて食する。夜は往々水より出で、前翅を開き、後翅を動かして空中を飛ぶものである。

三、みづすましはけんごらうに似た蟲で、これよりも小さい。黒色で翅を疊んだまきは卵形で稍々扁たい。最も前の二本の脚は長く、後の四本の脚は短かくして扁たい。その名稱のやうに池、沼なきの水面を速かに泳ぎ廻るものであ

る。

四、ぼうふりは水中に棲み、黒茶色で翅なく腰なく、體の屈伸によつて水中を泳ぎ、時々水面に浮びて空氣を呼吸する。棒を振るやうに見えるのでぼうふり、こもぼうふり、こもいふ。

ぼうふらや蚊になるまでの浮き沈み

若きぼうふらは頭が小さく、胸の幅が稍廣く、腹は細長くして幾つかの節より成り、その後端に二本の管がある。

その一本で空氣を呼吸し、他の一本より糞を出す。倒になつて水面に浮び呼吸する。水中の微細なる生物なごを食し、十分成長すれば、胸の著しく大きなおにぼうふり、こなる。このぼうふりは胸の上側に二本の管があり、これで空氣を呼吸するものである。おにぼうふらはかの蛹である。後に中からかが出る。

五、蚊は晝は暗き所に隠れ、夕方より盛に飛廻り、室内に入つて來て人の血を吸ふ。やぶかばは黒白の縞のある蚊で、草木の繁れる所に棲み、晝人の血を吸ふ。又蚊には人の血を吸ふこきマリリヤミ稱する熱病を傳へるアノフェレスミ

稱する一種がある。この蚊は普通の蚊に似てゐるが、翅に斑點がある。又この蚊は物に止まるこき頭の方を物に近づけ、

腹端を遠ざけて體を斜にする。けれども普通の蚊は體を物と平行にするからよく區別が出来る。

血を吸ふ蚊は凡て雌で、雄は血を吸はない。雄の蚊の頭には口の左右に觸角に似た二本の小顎鬚があり、觸角にある多くの細かい毛は、雌では短い、雄では長いので、よく識別が出来る。

蚊の頭は小さく、胸は太く、腹は細長い。そして頭には左右に一つづつ大きな眼がある。頭の下側には細長い管の如き口がある。胸の上側には二枚の薄い翅が著いてゐる。

これは前翅で、その後方には後翅の代りに二つの小さい杓子形のものがある。胸の下側には六本の甚だ細長い脚が著いてゐる。

ぼうふりを廣口瓶に溜水と共にに入れて置く、次第におにぼうふりとなり、蚊さなるこきがよく觀察出来る。

七、せみ

せみにいろいろの種類がある。あぶらぜみは翅の茶色な最も普通のせみである。みんみんぜみ、つくつくばい、ひぐらし等いろいろある。並べて比較するに面白い。

せみは雄だけが鳴く。雄の腹の内部にある空の室は一對の氣門によつて外に通じ、中に空氣を充してゐる。その上側の薄き皮の内面には一つづゝ大なる筋肉の端が附著し、この筋肉の下端は左右共に下側の中央の厚い皮に附著してゐる。この筋肉は甚だ速に伸縮し、その伸縮の數に隨ひて上側の薄き皮が振動する。この大きな空の室の空氣及び下側の薄き皮は共に振動して音を強くするものである。

せみはあんなに大きな聲で鳴くものであるがそれを聴く耳があるか否か問題になつてゐる。

腹の第二節に突起があり、その附近に凹んだまごころがあつてそこに聽神經が來てゐるこいふ。

せみの頭の左右には一つづゝ大きな眼がある。又この二つの眼の間には三つの小さな眼がある。頭の前方には二本の細く短き觸角が出てゐる。頭の下側には横皺のある三角形の所があつて、これから一本の細長き管が出てゐる。こ

れがせみの口である。せみの脚は六本あつて胸の下側に著いてゐるが、よく太い樹に止まることが出来る。

八、鳴く蟲

一、すゝむし、まつむし、くつわむし、うまおひ、こほろぎ等、秋の夜鳴く蟲が多い。きりくすの如く夏の日中鳴く蟲もあるが、多くは夜鳴く。けらは土中で鳴くから、みすが鳴くこいはれる。

最も普通のこほろぎはコロロジミ鳴き、體の長さ二糶餘ある。その他リーリミ鳴くもの、スエッサエツミ鳴くもの等がある。何れも遙に小さい。すゝむしはリン／＼ミ鳴き、まつむしはチンチロリンミ鳴き、くつわむしはガチヤ／＼ミ鳴き、うまおひはスエツチンミ鳴く。是等の蟲を挿へて硝子鉢の中に土を入れたものに飼つて置くがよい。枯草なぎを入れて置くこいび出ることがない。暗いまごころに置くこほろぎなぎは前翅を斜に立てゝこすり合せて鳴くのがよく分る。土を掘つて穴の中に隠れるまごころも見える。茄子をかきうりの切つたものを餌にして入れて置くこいひのである。

この夏の自由質疑討究講習に就て

倉 橋 惣 三

講師から與へられる講義を一齊に聽いて居るだけでは足りない。自由に質問もし、其答へに又質問もし、討究また討究、日頃の疑問に解答を得たいといふ事は、この講習會でも講習員諸君の希望に相違ない。又面白いふ風にしなければ充分の効果が無いといふのが、近來の一般の意見でもある。それを實行して見やうといふ事になつたのである。ところで、計畫としては至極くいゝが、それを引受ける身になるに容易でない。そんな六かしい質問が出るかも知れないし、どこまで突込んで來られるかも知れない。そういったを一々應答してゆくのは千人力でもなくては出来そうもないことだ。教場の生徒なら質問の範圍も大抵きまつてゐる。講習會ではそんな譯にいかない。講師さまよりも経験の深い人も澤山居られるし、頭の鋭い方も大勢あるし、その上、問題が實際の上で生きてゐることばかりなのだから、うっかりした答へでは通らない。講義なら、皆さまお

分りで御座いませう。今日は先づ此の位で……。つまり、分らなければそつちが悪いんだでも濟むかも知れないが、實際問題なるに、そうはいかない。それに、之れが講師室の差し向ひでもあることなら、男講師ならハッハッハ。女講師なら、オホ、。、位の魔法もあるか知れぬが、何しろ全講習員諸君満座の中の應答なるに、扇子バチく位では切りぬけられそうもない。その上、その御當人は、假りにいゝ加減のところでまけ（勝負のまけ）ではない。何割方大まけのまけである（て下さつても、それに就て一寸伺ひますが……）が、この方角から飛び出して來ないことも限らない。それを何にか切りぬけたかと思つて汗をふく。先生、それはさき程のお答へに少々その……でも、やんわり突かれて御覽なさい。先生たるもの、汗は一時に冷汗に冷却せざるを得ないであらう。

然し、引受けた以上、其位の事は膽を落ちつけてかゝる

まして、もつこ心配してゐるのは、其場の運びがうまくいかさうかといふ事である。運びよいふのも可笑しいが、若し肝心の御質問が出なかつたら、それこそさうなるかといふことである。それこそ折角の千人力が間の抜けた事になる。御質問は御座いせんか、なんて下手な村會議長の眞似でもさせられるやうな事になつたら、それこそ此頃のはやり言葉でいふダーになる。自分の事は棚にあげて、そんな取り越し苦勞も、ないではないのである。

そこで、此の夏の講習の保育問答陣に臨まれる方々豫めこゝでお打ち合はせがして置きたい。是非さうぞ、うんこ質問を用意して来て下さい。そうして、さし／＼質問して下さい。餘りいぢめては氣の毒だと思はれる方もあるかも知れないが、餘りらく／＼にして下さつて、お互さまお涼しく御座いますでは、此の講習の計畫が無になるといふものである。矢でも鐵砲でも持つて来いなんて強いことを言ふ譯ではないが、戦場の儀なれば、お互さま眞劍の立ちあひで、いくらでもお相手をいたします。折角、タスキハチャキで立つた以上、さあ来い來れ、さこからでもかゝつて來い

さばかり、チャン／＼バラ／＼思ひ切つて奮闘して見たい。見事切り込まれて、受ける太刀先きが狂ひさうになつたら、風は涼し、知らないことは知りません。分らないことは分りませんだけのこと。それでもまだ詰め寄つて首をさう／＼いふ人もあるまい。

兎に角、此の夏の講習會の計畫を有效ならしめるか否かは、少くも半分以上、會員諸君に責任がある。責任といつては暑くらしいが興味があるといつてよからう。質問者といふよりも、問題提供者として、ほんさうに此講習會を賑かに充實させて頂きたいものである。また、假りに問題を提供しない方でも、大抵同じ様な日頃の疑惑に就て、講義の系統よりも、その問題の活きた興味で、討究を聽いてゐられることは、つまり御自身の問題である。少くともいつもの聽講のやうに眠むくはならない筈である。

この夏の本協會主催の講習の計畫に就て、何か誌上に書けいふことで、我が身にふりかゝつてゐる分だけ吹聴した。淡路講師、及川講師、戸倉講師の分に就ては、今更私に吹聴する必要もない。新味に實益に於て、必ず講習員諸君を満喫せしめるものである。

子供と自分

平安女學院 大塚 喜一

子供と共に**おはなし**を楽しんでゐる時、ガタンミ戸が開いて人が入つて来た。この時、子供よりも自分の亂れる事が恐ろしい。ハッ！とした途端、一寸した怒り、不安・焦慮

等のこのんがらつた氣持が自分の心を亂し曇らせる。そして今迄の状態にまで復歸するのに幾何かの時が費され、場合によつてはそれが甚だ困難となる。その爲に子供が亂れるのだ。「子供に語る」以上、自分と子供達の心の交流が常然第一義とせらるべきである。然らば、子供が亂れるのは、外的な妨害よりも話者自身の心の動搖が主な原因である事に氣づくであらう。

故に、此際最も大切なのは話者自身の心の平靜であり、ゆるぎなき態度である。ペスタロッパーが「生活の平靜即ち内心の秩序の源泉」ミ云つた眞理は此處にも當てはめる

事が出来る。子供たちと自分とが一つになつてゐる「おはなしの世界」以外の何者をも容るゝ餘地無きまでの眞實なる心の態度が大切である。

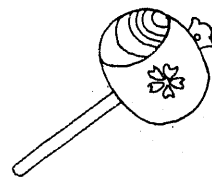
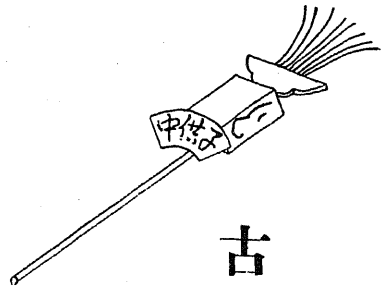
眞劍勝負で敵と對してゐる時、人が入つて来た事に氣づく餘蘊があるか。

子供を信じて話せ。「子供の世界」の法則を忠實に守つて話さへすれば、子供達は必ずきいてくれるものだ。この確信を以て話せ！話の途中で人が入つて来た事や子供達が亂れた事等を悔ゆるよりも、今迄よく聽いてくれてゐた子供達に對して、僅かな妨害の爲に自分が亂されたといふ眞實性の不足を詫びたい心が起る。

恐るゝ勿れ、たと信ぜよ！（昭和八、六、二〇）

古きもの二つ

新庄 よしこ



唱歌遊戯が勃興してから、在來の傳統による童謡遊戯はすつかり影をひそめてしまひました。こはいへ、全くその跡を絶つこいふわけでは無く、次から次へこ新らしく作り出される唱歌遊戯におされて、一こき顧みられ無かつたこでも申しませうか。

一方は識者達が特に幼児の爲にこて、選んだ教育に關する材料であり、後者は、誰が作つたこも、何時ごろから始つたこもわからない子供のあそびであり、相共に、幼い人達にこつては何れを是とし、何れを非とするここの出來ない意義深いものでありませう。今日鐵筋コンクリートの園

舎に見る幼児の自由遊びに、思ひがけなくも、ふこ見いでた六十年前の童謡遊戯。私共もまた幼き日に、夕やみ迫る頃ほひ迄も遊びほうけたそれであるこを思ひ見る時、是等のおそびが持つ捨て難い執著が、かなり粘りづよい潜在力を以つて、幼い子供から子供へこ傳つて、その命脈をつないで來たこが思はれます。

その二三を擧げて見れば、

- 一、芋蟲こおろく、ひょうたんほつくりこ
- 一、子を捕ろ子ころ
- 一、今年のぼたんはよい牡丹

一、こゝはぎこの細道ぢや

一、筭一本おくれ、まだ芽が一本

一、螢こい

一、大阪ぢやんけん負けるが勝ちよ

一、夕やけ小やけ明日天氣になあれ

一、蛙がなくから歸ろ

一、かごめく

何れも夫々に歌さあそびがついて居りますが、この中で近頃しきりに致して居りますものを一つ記して見ませう。

今年の牡丹はよい牡丹

鬼一人別に立ち、十人位(何人でもよろし)の一團手を

つなぎ輪になり歩き乍らうたふ。

今年のぼたんはよいぼたん、みイみをかからげてすつぽんぼん、もう一つおまけにすつぽんぼん

鬼「入れて頂だいな

一同「いや

鬼「そんなら山へ行かない

一同「山蛇が出るからいや

鬼「ぢや 川へ行きませう、

一同「皮がむけるからいや、

鬼「そんなら海へ行きませう、

一同「海坊主が出るからいや、

鬼「そんなこと云ふと、家の前へ來たら、天びん棒でぶつわよ、

「ぢや 入れて上げるわ

こゝにて鬼は一同の中に入り、手をつなぎ圓形になりてうたふ。

一同「今年の牡丹はよい牡丹、みイみをかからげてすつぽんぼん、もう一つおまけにすつぽんぼん

鬼一人又別になる。

鬼「私も歸るわ、

一同「どうして、

鬼「おひるごはんだから、

一同「おかすなアに。

鬼「蛇、

一同「生きてるの、死んでるの

鬼「生きてるの、

一同「さよりなら、

鬼は歸りかける。

一同「誰かさんのうしろに蛇が居る、

鬼「わたし？」

一同「いゝえ、

鬼「わたし、？」

一同「いゝえ、

鬼「わたし？」

一同「さう、

鬼が一同を追ひかける、こゝは鬼ごっこと同じ、つか

まつた一人が鬼になつて、是れを繰り返す。

(二種の節がついてゐますが、音符にあらはせません適當に子供がふしづけることと思ひます)。

これは、昔のものは、もつと簡單で、こゝはも左の通り異つて居ります。

いれて頂だいな(いゝや)

山へ行きませう(お化けが出るからいや)

川へ行きませう(皮がむけるからいや)

そんな事云ふなら家の前へ来た時天びん棒で頭こつきりぶつてやる(痛いから入れてやる)

「今年のぼたんはよいぼたん」なごきは、誰か何時ごろ附け加へたものでございませう。遊んで居る中に、その仲間同志で、面白く變へもし、附け加へもするごいふ事も面白ごいごゝ存じます。

この遊びは、東京では諸々で行はれて居りまして、今更御紹介する迄もないごは存じますが、兎に角かうして、云ひ傳へ、口づたへに在來の遊びが、今尙行はれて居るのは、誠に嬉しいごいでございます。さここからごも無く風のやうに傳つてくるこれら巷間の遊戲に云ひ知れぬ面白さごなつかしみを感じて、少しでもかういふ事を失ひ度くないごいふごゝろから記して見たのでございます。

こんな材料を持ち出して、お恥しうございますが、十何年ぶりですてみれば、やつぱり面白いので、昔つかつたらきて、何もむけに、すてしまふにも及ばないごも思はれて、又一つにはおはなしの新らしい方面へでもひらかれ

てゆけばご存じますので、御紹介いたします。

詩の吟誦と同じことで、先生が二三度これを面白く讀んで聞かせ、あこは、一句づつを順々に幼児に云はせて見るのです。始めに先生が「ひいろい／＼インデアの」云ひ、次には幼児が「ひいろい／＼インデアの」云ひ、あこは、次々をこの方法で申して、全部を覚えてしまふわけでございます。

ひいろい／＼ インデアの

野原の中に しよんぼり

たつた一つの 停車場が

さびしくたつて居りました。

驛長さんのチャンダーと

荷物が、りのチャトナーと

たつた二人で住んで居た。

一日一度汽車が来て

たまに荷を上げ下ろす

外には何の用も無い。

二人はさみしく退風で

電話を次の驛にかけ

「夕への月はよかつたね、

今朝のおかずは何たべた

今日こそ雨は降るまいね」

又或る時は眞夜中に

「大變々々 大地震

瓦がガラ／＼ おつこちて

驛長さんが怪我をした

早く助けに来て下さい」

ほんとうらしく云ひました。

ところが或晩チャンダーと

チャトナー二人でいろ／＼と

話をして居るまん中に

大きな虎がとび込んで

驛長さんをつかみ。

チャトナーさんはびつくりし、

やつとの事で云ひました。

「虎 虎がやつて来て

驛長さんに飛びついた

助けて下さい大急ぎ」

「又始つた いたづらが

折角氣持のいゝ夢を

見てゐたところをチャトナー奴

是からベルが鳴つたとて

起きて取次ぎするものか」

あくる日汽車が着いた時

チャンダーさんの古靴と

チャトナー君のステツキと

外には人の影も無い。

どうした事かと機關手が

ブラットホームに来て見れば

大きな虎の足跡が

あちらこちらについて居た。

詩の吟誦ミ違つて、面白いことには、言葉に、相當する身振りをつけながらいたします。一つ二つ先生が示せば、あこはめいゝ幼兒の創案になるジュエスチャーミ共に苦も無く覚え込んでしまひませう。遊戯ミは異り、自分の、是れミ思ふ動作を勝手につけて居ります。例へば、一日一度汽車が来て「は兩手で車の動く様、大變々々大地震、こゝは子供が誠にうまく表しましたし、又、一番面白いらしうございます。虎の動作は、兩手の五指をひろげて、ミびかゝる眞似、又始つた……は眠る、ミ云つた工合に、いたして居ります。

調子がいゝのミ、この身振りミで、思ひの外早く覺えてしまつて、氣が向けばたつた一人でもやつて居るのを時々見うけます。

それで一寸氣がかりなのは、意味が残酷ではないかミ、いふ事ですが、それは大人が、特にそののみを取り出して談話の理想的條件に照らし合した時ばかりの懸念で、狼が羊を食べてしまつたのを、何ミも感じないミ同じことミで大した事でもございませう。



丸山千代女史を語る

西窓學園 牧 賢 一

最近櫻楓會託兒所の丸山先生から左の如き挨拶狀が各方面に發せられた。

「夏も間近かになりました御一統様にはいよいよ御機嫌美はしくおられますこと、謹んで御悦び申し上げます。

私儀昨今特に疲勞甚しく大切な託兒所の仕事を果します上に思ふ程の働きも致しかれる様になりましたので、洵に残念ながら此の度職を退かせていたゞくことになりました。

元來、力も修業も足らず其の上我儘者の私を多年厚き御心も御いつくしみ御導き下さいましたこと今新しく心に覺え感謝の氣持は筆紙に盡し得ぬ程で御座います。茲に改めて深く御禮申し上げます。

尙、退職に當り井上會長他皆様の御心厚き御計らひによりまして菓鴨に於ける現在西窓學園が社會事業を營みつゝあります舊櫻楓會託兒所の建物を頂戴致すことになりました。之はもと昭憲皇太后陛下葬場殿便殿の一部を保育事業獎勵の御思召によ

り櫻楓會に下賜されて出來ました由緒あるものであり又私が長くそこに働かせていただきました思出深い場所で御座いますから、まことに此の上ない光榮で御座います。従つて一日も速かに健康を恢復致し、今後は西窓學園の同人達に伍して及ばぬながら幼兒保育事業のために手傳はせていたゞくと共に、傍ら聾啞婦人の職業教育に献身致し度いと存じて居ります故、何卒相變りませす一層の御指導と御援助を賜はり度く伏して御願ひ申上ぐる次第でございます。

筆末ながら御自愛遊ばしますよう祈り上げます。

先は右略儀ながら取敢へず手紙を以つて御禮旁々御挨拶まで申し上げます。

昭和八年六月

丸山 千代

我が國の幼兒保育一殊に民間託兒事業の實踐的分野に於

ける恩人として長く斯界に知られて来た櫻楓會託兒所の丸山千代先生が去る四月限り櫻楓會を辭められたことは、一部に於いては豫ねて此の事あるを豫期してゐたことではあるが、多くの保育及び社會事業關係者のみならず、一般に先生を識る心ある人達を驚かせたこと共に誰も哀惜して已まないところである。然し先生の此の度の辭任は、其の挨拶状にもある通り決して保育事業或は社會事業からの隱退を意味しない。失はれた健康を取り戻し一身上の生活を整理した上は再び、恐らく捲土重來の意氣と熱意を以つて其

の與へられた使命のために餘生を擲つて働かれることであらうと思ふ。幼な兒のために、貧しき者のために、不幸なる者のために、先生は其の心身を捧げなければならぬ稗なる焔を性格的に燃されてゐるし、又今此の苦しめる下積みの社會が先生の無爲なる隱退を許しては置かないであらう。が先生が一先づ從來の個人的社會的諸關係を清算し新しき途を拓くために櫻楓會を辭せられた時に當つて、本誌の編輯者は筆者に對し「丸山先生を語る」ことを求められた。筆者は十年來先生を第二の母とも師とも仰いで先生の

御仕事の驥尾に附いて歩んで来た關係から、或る點に於いてはよく先生を知つてゐると言へるのであるが、然し反つて餘りに近くなるために果してよく先生の全貌を掴み得るか否か頗る疑はしいし、而かも現在尙ほ身近かにゐられる先生を縦横に語ることは些か面はゆく差し障る方面もあり、先生も亦お困りのことと思はれるので、茲には先生の新しき生涯の門出を幸多かれと祈りつゝ、其の片鱗を語るることによつて責めを塞げさせて頂きたいと思ふのである。

*

先生は明治二十年五月米澤市に丸山孝一郎氏の三女として生まれた。家は代々上杉家の家臣として祖父の代まで米澤の町奉行を勤めてゐた。父孝一郎氏は名望家として知られた人格者で廣く實業界に活躍され曾つては國會に議席を占められたこともあつたが、明治四十五年先生が二十六歳の時一物の財産も残さずに病没された。

先生は米澤高女を卒へるや父の贊意を得て上京し日本女子大學校教育部第一部(博物專攻)に入學され明治四十二年二十三歳にして卒業、當時父の社長として經營された上

杉家の模範工場―米澤製絲株式會社に工女取締りをして勤務され、父上の意を受けて大いに工女の生活改善に努め、殊に食餌の改良に盡すところあり、其の信望を集めた。其の間或る事件から工女を指導してストライキを起こさせたと言ふようなエピソードもあるが、二十六歳の時、當時東京に在つて病篤かつた父上を看護するため上京して其の他界に逢ひ再び郷里米澤に歸つた。然るに其の時偶々女子大櫻楓會は時勢の風潮に刺戟されて勞働階級のための託兒所事業を開設せんとして計畫を進め、其の主任者を物色中であつたが、白羽の矢は先生に當てられた。交渉を受けた先生は其の任に非ずとして固辭してやまず謝絶するために上京したが、先輩知友の懇請遂にもだし難く意を決して其の任に就くことを承諾された。時に大正二年先生が二十七歳のころである。此の時先生が何故かくも託兒事業につくことを辭退されたのか、それは先生の御姉妹の中にお氣の毒な聾啞の方があり是非一生を聾啞教育のために盡したいと私かに期してゐられたからである、さ何日かもらされたことがある。

扱、愈々託兒事業に働く決心をされた先生は其の適當なる場所を得ることに苦しまなければならなかつた。當時世間は未だ託兒事業の何であるかを知らなかつた頃であるから汚い貧乏人の子供達を集めるさ聞いたゞけで土地も建物も貸してくれるものは無かつた。それに、貧しい幼な兒達にはさうしても充分な日光さ空氣のある出来るだけ廣い場所を、と言ふ先生の主張は一層場所の入手を困難にした。然し、漸く小石川久堅町の裏長屋に二軒を借り受けて之を打抜き假りの託兒所として、さもかくも其の年の六月に一人の助手さ二人で仕事を始められたのであるが、其の廣さは六疊一間に四疊半さ三疊。俄然近隣の要求に投じた此の仕事は大いに歓迎され忽ち子供の數は増し、先生達は晝食も鹽ふりかけてかつこむ程の忙さになつた。そこで間もなく先生は其の前側の長屋に六疊さ三疊の一軒を借りて住居さし、先年他界された御母堂保濃子^{ホノノ}刀自を呼びその温き協力さ激勵の下に、其の奉仕さ苦難の戦ひを續けることゝなつたのである。後大正四年、昭憲皇太后陛下葬場殿便殿の下賜を受けて、現在西窓學園のある巢鴨に託兒所を新築、之

に移轉してから後も、内に外に常に絶えざる苦しみに對して先生がよく今日まで耐えるこの出來たのは、一重に聖者の如き神の如き其の御母様の深い理解と愛と勵ましさに依るものであつた。斯くて櫻楓會託兒所は次第に世の注目惹くようになり後に出來るものゝ模範として學ばれるようになったのである。大正六年東都大水害に際しては不健康な體をおしてモンペイ姿に身を固めて飛び廻り災害地の各所に臨時託兒所を開いたが、之が動機となつて大正八年日暮里の地區に櫻楓會第二託兒所が開設され其の主任を兼ねるこゝになつた。又大正十二年關東大震災の後に櫻楓會は上野公園のバラック内に臨時食堂を設け、避難民の子供達に給食をし授産場を開設する等色々仕事を興したが先生は之の中心となつて働かれた。其の他震災に父母を失つた幼児達を託兒所に收容して其の世話に寢食を忘れた。

大正七八年頃から先生は、託兒所は單なる託兒事業のみに終始すべきではない、其の近隣家庭のために、其の出身者のために、出來るだけの幸福を圖らなければならぬことを考へられ、仕事を次第に隣保事業として働かせることとし、

殊に近所の青年女子のためには夜學校を開設して其の教育に當つたが、震災後は更に之を男女青年の夜學とし、又貧しい小學兒童のために圖書室を設け子供會を開き復習會を始め毎夜集めて學校の豫習復習を指導する傍ら其の精神教育に力を盡し、託兒所幼兒が成長して小學校に上り更に實社會に出て働くようになるまで一貫して世話が出來るようになつた。其の希望を達する一つの方法として、篤志家を集めて託兒所出身幼兒を各數人宛割當て其の將來一切の相談相手、指導者となつてくれる様に依頼し、所謂ビッグ・ブラザース、ビッグ・シスターズのシステムを作つたが、之は不幸にして成功しなかつた。

*

丸山先生は理論の人ではない、どこまでも實行の人だ。其の天才的エイチな叡智の閃きによつて常に新しい方法を考へ、よしと信じたことは如何なる困難を克服しても必ず之を實現しなければやまない。かねて裏長屋の子供達を其の家族を田舎の自然に遊ばせたい、其のために郊外に畑でも借

りて毎日曜日连接到れ行き度いよよく話してゐられたが、昭和二年には多摩川の河畔に西窓洞名付けた建物を作り、週末保養や夏期學校のために使用し、社會事業團體のキャンピング・ハウスに先鞭を付けた。各兒童保護團體の夏期轉住やキャンプ生活が旺んに行はれるようになったのは其の後のことである。

此の時分までに、先生の人格を慕ひ其の隣保事業のお手伝ひをしたい余暇を捧けて無給で働くために集まつて來た男女青年の数は約三十名近くに達してゐた。期せずしてボランティアを本位とするセツルメントの精神を具現してゐたわけであるが、此の若人達のグループ西窓會が後の先生を櫻楓會の板狭みに苦しめることにならうとは誰も氣付かなかつたのである。詳しいことを云ふのははゞかるが、昭和三年櫻楓會が種々な内部的理由によつて巢鴨託兒所の閉鎖を宣言した時、此の純真なる熱血のグループは地區の實情を見て閉鎖に反對し遂には自分達だけでも之を續けて經營したいと願ひ出た。もこより櫻楓會は之を容れるべくもなく若人達はやむを得ず建物に立籠つて仕事に當つ

たのであるが、事業存続論を正しいと信じた先生は陰に陽に西窓會と櫻楓會との間に入つて青年達の希望貫徹のために盡力された。櫻楓會側からは恰も國で言ふ賣國奴かの如き非難と叱責を受けながら今日まで五年間絶えず正しきを説いて退かなかつた。其の先生の苦惱と不退轉の精神は思ふだに我々の泪である。

*

人に知られた託兒事業の丸山、櫻楓會の丸山は、其の地味な實行的風格と傾倒的な犠牲的精神によつて我が社會事業界に見えざる大きな足跡を印して來た人であることに、其の働かれた地區に於いては策も裏表もない直情的な人格者としてお神さん達から其の敬愛を一身に集め而かも夫れを全く意識しない人である。先生位自身涙なくしては聞けない様な苦しい人生を渡つて來、又日夜苦しむ人達の中に起き伏し、又仕事の性質上廣い社會的な交渉を持ち、所謂上流の人達とも接觸してゐながら、其の性格の上に、其の心情の上に、又其の舉措動作の上に、何等の影響をも受けず常に本質のまゝである先生の様な人は少いであら

う。先生の態度言動には絶體に政策的な掛引きや社交的な上手さがない。其のために反つて人の誤解を受けたり失敗をするこゝも決して少くない。

先生の人柄を一言にして言へば、良い意味での「野人」である。先生には何の粉飾もない。そして永遠に洗練されるこゝなき粗野な自然のまゝの、常に自分の本心を開け放しにした真裸の人間である。持病の腎臓病に毎も顔色の悪い先生の太い眉毛、引きしまつた脣、廣い前額、不愛想な表情、如何にも人當りの荒い取りつき難い感じのする人ではあるが、若し此方が人の心の琴線に共鳴し得る純真さと聰明さを持つてゐる人であつたら、誰でも一度口を聞いただけで何處か心惹かれて其の懷に飛び込んで行かないではゐられなくなると言つたような人である。

*

汚い託兒所の板の間に座つて叮嚀にお神さん達の話相手になつてゐる先生の粗服姿は又其のまゝ變らずに貴顯高官の應接間にも現はれる。金殿にあつても茅屋にあつても變るこゝなき人間と言つたベスターロッチの信念を私は先生

の心の裡に見る。先生らしくしない先生は、お神さんでも、子供でも、私達若い者でも、皆自分と同じ様なレベルに置いて語り意見を聽いてゐる。上から下への觀念を全く持つてゐない人だ。

又、初めて紹介されたばかりの人から泣きつかれて自分の月給を前借して貸して了ふ先生は物慾に恬淡な人である。共に涙もろい童心の人だ。嬉しいこゝがあれば無しように喜び、歪曲に對しては假借なく争ひ、千萬人も我行かんの意氣を示す先生は、時に一人深夜自分の缺點を省みて其の事業に適しないこゝを嘆き泣いてゐられる。靜かなる所を好み自然に陶醉するこゝを喜ぶ先生には祈りがある。

或る社會事業の先輩は「丸山さんこそ、社會事業家としての最後の人だ」と言つたこゝがある。最も社會事業家らしくなくて而かも最も社會事業に適つた人と言ふのであらう。先生は「母を想ふ時、毎も、一心巖をも透す、と言つた母の言が忘れられません」と言はれる。先生のお父様は早くから婦人の經濟的獨立を説かれ働け、働け、主義を教へ、先生に對しては特に自由な自治的な教育を施された。二十歳

前の若い娘に一人で旅をするこゝをすゝめ旅宿にも泊めたし、又夜十二時一時に他所から歸つても何こもこがめなかつたと言ふ。先生は其の亡き御両親を想ふ時、萬腔の尊敬と感謝を以つて語られる。其處にこそ今日の先生が在るのではあるまいか。又若き日の先生を感動せしめた二つの魂、成瀬前女子大校長、女子大時代訓育を受けた聖公會のウォーズオース女史(文豪ウォズウオースの縁戚)のあるこゝも先生の口から屢々語られる。

*

先生は疲れた／＼と云ひながら櫻楓會を辭めて休む間もなく、五月下旬から東京府が東京府下に始めて開いた五ヶ所の農繁託兒所の指導に當り病軀を鞭つて交通不自由な農村を馳け巡つてゐる。恐らく今後もし事が先生を休ませないであらう。西窓學園に於ける幼兒保育事業の完成(チースリー・スクール化)と聾啞婦人の職業教育に先生年來の希望を達せられる様、一日も速かに先生の肉體を回復されるこゝを心から祈るに共に、多くの方々が此のよき人間である丸山先生をして其の志を成さしめるよう援けて上げて

下さるこゝを希つてやまない。

*

社會事業界全般に於ける先生の功績、其の豊富な奇言奇行、語るこゝは盡きない。茲には餘りに個人的なこゝを書き過ぎて編輯者の意に反したのではないかと怖れる。又恐らく斯んなこゝを書いたこゝが知れたら先生の御立腹を買ふこゝであらうが、總てのこゝは筆者の責任であるこゝを讀者は御諒承願ひ度い。(六月二十五日)

會告 八月號休刊

本誌八月は休刊し、九月に於て兩月號を合冊發刊するこゝにいたします。

此の機會に於て、皆様いよ／＼御健康に、よき夏をお樂しみになるこゝを御祈り申上げます。

昭和八年七月

日本幼稚園協會

子供に劇を與へる心持について

高 島 巖

五八

一、兒童劇の要求

兒童劇は、子供たちが生れながらにして持つてゐる美しい情操をばぐくみ育て、ゆく上になくしてはならないものである、こいふこは、誰しもの稱へるところであり、また、實際に、兒童劇が、情操教育の一手段として活用せられて來たこも、今更こあたらしく述べるまでもなく、明かな事實である。

けれども、多くの人々が、この兒童劇による教育が、人間としての全的教育の重大な使命をもつものであるこについて、あまり關心を持たないのは、さういふわけであらうか。

それこそ、兒童劇を、いまだに、おき芝居として、たゞこへそれが、非教育的な、非現實的な、荒唐無稽なもので

あつても、鬼がさびだしたり、龜がはしつたり、お姫様が出て來たり、仙人が現はれたりすれば、それで立派な兒童劇であるやうに考へて居られる向が、かなり多いのである。

私は、兒童劇こいふテクニクを、特に主張するものではない。子供芝居でも、おき芝居でも、名稱はさうでもよいと思ふが、そのこ、ろは、あくまでも、子供たちに對する、人間としての全的教育をその使命とするものでありたいと思ふのである。

數年前、當局は、學校劇に對して、相當峻烈な制限を加へられたこがある。

勿論その時の當局の心持のなかには、學校劇を獎勵するこによつて生ずる色々な弊害を懼れて、これを制限するやうになつた、相當デリケートな氣持のあつたこは、云ふまでもない。

けれども、若し當局が、この點、つまり子供たちに對する人間としての全的教育をその使命とする兒童劇若くは學校劇に對して、理解をもつことがあつたならば、彼等は、おそらく、あの、一面あまりに厳し過ぎると思はれるやうな制限はしなかつたに違ひないと思はれる。

學生が白粉をつけることがいけないのなら、白粉をつけることだけを禁ずればよいのである。

人、あるひは云ふかも知れぬ。白粉の問題ではない、衣裳の問題ではない、その悪いところは、要らぬ虚榮心を養ふからである、こ。

しかしながら、若し、それだけが理由なら、その點の改革を何故しなかつたのか。

子供は劇を愛するのである。子供は創造したいのである。子供は發表したいのである。

われ／＼は、この極めて自然な人間の欲求を、たゞ、少數の子供たちによつて摘發される虚榮心の故に、放り出してしまつていゝのであるか。

また、所謂虚榮心にしても、今一歩進んで考へて見るな

らば、それは、必ずしも、悪いものではないのである。

すぐれた人間になりたい、いゝ人間になりたい、はづかしくない人間になりたい、さういふ所謂、彼等の人間建設への尊い努力の現はれである場合が、非常に多いのである。

創造したい氣持、發表したい氣持、更に、すぐれた人間になりたい、いゝ人間になりたい、はづかしくない人間になりたい、それらの氣持を、誰が、悪いものとするこゝが出来るか。

「あつし、随分よく出来るでせう」

ミ、七つになる女の子が云つたミする。その心のなかには、さうかしてよく出来るいゝ人間になりたいさういふ氣持があるのである。

「あつし、随分綺麗でせう」

ミ、五つになる女の子が云つたミする。この子の心は、美を憧れてゐるのである。

美を憧がれる心、それは、ミりも直さず、藝術を愛する心である。

これを、たゞ、要らない虚榮心ののみ、叱りつけてしま

ふこじが出来るか。

「僕、こんなこじを考へついたらよ。」

こ、八つになる男の子が、自慢さうに云つた。こは、彼がやがて成人した時、世の多くの人を利益する、輝かしい發明の下準備であつたかも知れない。

「僕、こんなものを作つたよ。」

こ、同じ八つになる子供が、得意げに云つて、人々の注意を求めた。これは、彼がやがて世の中へ出て、あるものを創作せんとする、その努力のある階段でない、誰が斷言するこじが出来るか。

私共は、この極めて人間的な慾求を、劇によつてコントロールするこじが出来る。調和させるこじが出来るのである。しかも、劇は、彼等の人間的慾望を充すこじの他に、彼等をして、あらゆる方面から全人的に教育するのであるから、われ／＼は、出来るだけ、これについて研究し、最も有効適切に、これを子供たちに與へねばならぬのである。

一、兒童劇指導者の心がまへ

さて、以上で、大體われ／＼が、子供に兒童劇を與へる必要がわかつたとして、次に來る問題は、しからば、われ／＼は、如何なる心がまへをもつて、劇を子供に與へるかといふこじである。

一體今日わが國に於ける兒童劇の與へ方は、非常に大きな誤謬に陥つてゐる。それは、一言で云へば、創造し發表するこじのよろこびよりも、見せるこじのよろこびに重きを置いてゐる。

これは、主として中世期以後の演劇が、あまりにもはつきり、舞臺と客席との區別を設けたこじに源を發してゐると思はれる。

舞臺は舞臺、客席は客席、その間に何等の共通するものがない。役者は、たゞ見せるために動き、観客は、たゞ娛樂せんがために見物してゐる。

この長い間の傳統が、兒童劇にも影響を與へてゐるのだと思ふ。

「随分うまくやるなあ」

「つまんないの！」

子供たちは、演じてゐる友達に對して、少しの關心もなく、共鳴心もない。たゞ、見せるから見てゐるんださいふ氣持である。

しかしながら、これに反して、少くも原始時代に於ける演劇に於いては、劇は、一つの感謝の現はれであり、信仰の表示であり、よろこびの表現であつた。演ずるものも、観るものも、一つの創造することに對するよろこびに溶け合つてゐたものである。かの外國に於ける聖劇の如き、わが國に於ける豊年祝、盆おさりの如き、一國を擧げ、一村を擧げてその日を待ち、その夜を待つ、この協同して創るよろこびを、今日のわが國の兒童劇は、忘れてゐるのである。

先生さいはれる人は、ただ御自身の成功のために、あるひはまた、御自身の法悦のために、子供たちを犠牲にして居られる。

「さあ、もうあと二日ですよ、しつかりやらないと、みんなに笑はれますよ」

「なんです、そのしぐさは、もう十ペンも直させただや

ありませんか。だめですよ。他の組の人たちにばかにされ
ますよ」

先生の頭には、演技する、その子供のこころなきは、みじ
んもない。ただあるのは客席である。他の組の子供たちで
ある。もつと強く云ふこころが赦されるならば、御自身の成
功であり、御自身の法悦である。

さて、かうしていよく、二日経つて公演の日が來たこ
する。

かんじんの演技する子供たちは、連日の練習のために、
疲れ果てゝゐる。足も手も動かない。頭は、鉛のやうに重
く、セリフは、すつかりわかつてゐるやうな、また、なん
にもわからないやうな、不思議なこころに陥つてゐる。

たゞ、有頂天にはしやいで、ゐるのは、指導者である、
演出者である、先生だけである。

こんな風で、満足な演劇が出来る道理はない。少しも感
情の入らない、ふねけた劇が、舞臺の上で、たゞ進んでゆ
く。

これが、ほんまの兒童劇演出の方法であらうか。

これで、子供たちは、全人的に教育されるであらうか。正しい児童劇は、子供自身によつて創られねばならぬ。演出も。

演技も。

装置も。

照明も。

子供たち自身の心のおもむくまゝ、その憶ひの及ぶ限りがなされば、それでよいのである。

更に、他の方面より考へるならば、舞臺がなくとも、演出者がなくとも、若しそこに、何かを創造し、發表したい希ひがあるなら、そこに劇があるさへ云へるのである。

例へば、こゝに、五つになる女の子ミ、七つになる女の子ミ、それに、同じ七つになる男の子がゐるミする。

彼等は今、お座敷の八疊間で、まゝ、ミをやつてゐる。

室の中には、お父さんの書物でかこまれた、臺所ミ客間ミ居間ミの家が出來てゐる。七つになる男の子がお父さんになつた。七つの女の子がお母さんになつた。五つの女の子は、ねい、やである。

この間おばさんからお土産にいたゞいたまゝ、ミ道具のおぜんが運ばれる。茶碗が、はしが。

そして、その間にかわされる子供たちの會話を見よ。

これが劇でなくてなんであるか。

また、こゝに六つになる男の子ミ、八つになる女の子がゐるミする。

彼等は弟姉である。

「ねえさん、ねえさん、ねえさん、こゝに面白い繪が出てゐるよ」

「さうれ」

「僕、この男の子になるから、ねえさん、女の子になつてね」

「えゝ、いゝわ」

「男の子ミ女の子は弟姉だよ」

「えゝ」

「そして、男の子はあんまり泣かないけき、女の子は、よく泣くんだよ」

「あら」

「さあ、ねえさん、一ベン泣いて見てよ」

そこで、八つになる女の子が、静かな泣き聲を出した。男の子は、女の子の肩に手を置いて、これを慰めた。すばらしい劇ではないか。

子供たちの生活を凝視せよ。われ／＼は、あらゆることに劇を發見する。

そこには、緞帳の下つた舞臺はない。

そこには、指導者云はれる演出者はない。たゞあるのは、創造せんごするこゝろだけである。

要するに、創造せんごするこゝろがあり、それに對するあくなき感激があり、更に、動作こゝろがあれば、劇は成立するのである。

前述の、八疊間での、あのすばらしい演劇、しかも無理解な大人は、

「なんですね、こんなによごしてしまつて。お父さんに叱られますよ」

云つて、あまりにも無慘に、このすばらしい創造を打ちこわしてしまふのである。

しかしながら、こゝで注意したいのは、子供たちは、お父さんに叱られるのがこわさに、一ベンはその創造を中止するが、ものゝ十分もたゞないうちに、再び彼等は、前よりも更にすばらしい創作を始めるのである。

この限らない創造の力、創作の力を愛したい。伸したいのである。

三、兒童劇指導の實際

以上で、われ／＼が、劇を子供に與へる心がまへが出来たとして、次に來る問題は、實際問題として、子供たちに、如何に劇を與へるかの問題である。

(1) 脚本の選擇

こゝで、第一に起つて來る問題は、如何なる脚本を選擇すべきか、つまり脚本の選擇である。

この問題の答へとして、私は、前述の、兒童劇を人間としての全的教育を使命とするものとして理解する立場から、次の數項に分けて考へて見たいと思ふ。

一、子供の生活を取り入れたもの……子供は、自分たちの生活を、何等かのかたちによつて、再現されるのを見、また聞くことに、非常なよろこびを感じるものである。

「かあさん、おつぱい……」

「いふ言葉が、脚本の中に出て来たとする。子供たちは、たゞもうそれだけでうれしいのである。彼等は、温かい母親の膝を思ひ出し、その聯想として、忽ち母親のやさしい愛しみを憶ひ、それに對する美しい感謝の氣持をもつて、そのこゝばを語り、また演技するのである。

また、その脚本の中にまゝ、この時の、あのなごやかな空氣、また、その時に用ひられる子供たち自身のこゝばが用ひられてゐるとする。子供たちのこゝろは、直ぐさま、まゝ、遊びを始めるのである。しかも、まゝ、遊びが、子供たちの家庭乃至は社會生活の訓練として、よいものであるとするならば、この種の脚本を選ぶことは、彼等の人間としての生活に、もう一度、その訓練を繰りかへすことになる。

私が、子供の生活を取り入れたものを選びたい氣持はこ

こにある。

更に、こゝで、つけ加へて注意して置きたいのは、子供に與へられる脚本に於いて用ひられてゐるこゝばが、その程度までに、子供たちが日常用ひてゐるこゝばに近いかといふことである。勿論、非常にわるいこゝばを、子供たちが常に用ひてゐるこゝば理由で、わざ／＼もつて來る必要はないが、出來るだけ、子供たちの語るそのこゝばが使はれてゐるものを選びたい。それは、一番近く子供たちの生活に近づき得る手段であるからである。しかもそのこゝばは、そのまゝ、彼等の生活を再現するからである。

二、藝術的なもの……これは子供たちに、美に對する關心を與へるため、さうしても考慮せられねばならぬ點である。児童劇は、常に一つの立派な藝術でなければならぬ。

ある人は、児童劇を、説教の代りに用ひる。

悪いこゝばをするこゝ、かういふ悪い酬ひがあるから、決して悪いこゝばをしてはいけない、ミカ、ある子供が正直にしたために、こんなに幸福になつた、諸君もみんなこゝばがあ

つても、虚言を云つてはならない、正直にしなければならぬ、さかひ風な種類の材料をあつかつたものであつて、これは説教であつて、藝術ではないのである。

私は、かういふ脚本があつてはならないとは云はない、むしろたくさんあつてほしいと思ふのであるが、これが藝術脚本であるかないかといふことになる、問題である。

またある人は、児童劇を宣傳の手段に用ひる。

最近プロレタリア演劇といふものがある。これの善悪は別として、これを、子供に與へる脚本の中にまで持ち來つてゐるものがある。大人に對する運動だけでは足りない、子供の時からこれを教育せよ、といふわけで、子供のプロレタリア思想を植えつけるのである。

これは、單にプロバガンダ、宣傳に過ぎないのであつて、藝術脚本ではないのである。

要するに、子供たちが生れつき持つてゐる美しき情操、正しき感情、夢の如き空想が織り込まれてゐる、所謂藝術的香りの高いものが望ましいのである。

三、善なるもの、正なるもの、ことに愛情を高調したも

の……これは、子供たちの心に働きかける最も大きな力である。善に對するあこがれ、正しきに對する勇敢、こゝろに愛情に對する思慕の、人間生活にまつて大切なこゝろは、今更云ふまでもない。

ある時、私は、ある教師會に臨んだことがある。その時の研究題目は、舊約聖書に出てゐるカインが弟のアベルを殺害する人殺の場面であつた。集つた五十人ばかりの人は、この材料を子供たちに傳へるこゝろについて研究した。私は、實はこの學課を子供たちに與へるこゝろはよくないを考へて、みんなに諮つた。

「この學課は、外のものにかへたいと思ふ。理由は、この殘虐なこゝろがら子供たちの前に展開するこゝろは、折角美しい子供たちの心に、悪い、暗いいけない印象をのこすこゝろになるから。……」

その時、一人の年をまつた教師が立つて反對した。

「あなたの云はれるこゝろにも一理はある。が、子供たちは、毎日のやうに人殺のはなしは聞いて知つてゐる。一ペン位聞かせても、そんなに強くひびくものではない」

私は、それに對して次のやうに答へた。

「私の考へは違ふ。多く見聞きしてゐればる程、教育者としては、なるべく少く見聞きさせるやうに努力せねばならぬのではないか」

私は、子供には、なるべく、わるいこごからは見聞きさせぬやうにしたいと考へてゐる。たゞへそれがよいこごの勝利に結ばれるこごからであつても。

美しい子供たちの心は、それによつて汚されるのである。知らなかつた子供は、それによつて知るのである。わるいこごがらを。

社會の各方面を知らせる必要がある。ミ多くの人はいふ。しかし、われ／＼が知らせなくとも、知らせる人は、残念にも、たくさんあるのである。その度數を少しでも少なくするこごが、われ／＼の努めではないか。

この意味から、私は、從來盛んに用ひられて來た邪惡に配するに正義、ミ云つた風な、また善を強調するための惡こいふ風なこごがらを内容とした脚本に對しては、好意を持つこごは出來ない。これミは反對に、よきものこよきも

のこごのあひだにかもされる美しき情操の輝き、感激、すばらしい空想ミ云つたやうなもので構成されたものがよいのではないかミ考へる。

愛する心ミ愛する心ミがもつれあつて、より高い愛の感激を覺えさせるやうな、正しきミ正しきミが重なりあつて、より強い正義の高潔を想はせるやうな、さういふこごろにテーマを置くものをりりたいと思ふ。そこには、美こ、正しきこ、愛こだけがあるやうな脚本を愛したく思ふのである。

四、社會的關心を呼びおこすもの……これは、子供たちが將來社會に立て行くために、最も必要缺くべからざるものである。

要するに、社會公共的精神を盛つたものである。

子供たちが自ら社會人ミしての意識を持つやうになるこごは、相當困難な問題であるが、すぐれた脚本によつて知らず識らずのうちその精神が植えつけられるこごは、やがて彼等が成人した時、彼等の社會的活動を少なからず援けるこごは、決して想像に難くない。

五、勤勞、勤勉を奨励するもの……たゞ、この問題に前の問題（社會的關心を呼びおこすもの）に於いて、最も注意を要するのは、それが説教に陥らないことである。説教に墮する時、それは藝術としての價値に支障を來すことになる。

六、自然をとりあつたもの……自然に對する美しい氣持の養成のために、これは是非必要である。自然に對するしたしみは、子供たちが生れながらにして持つてゐる詩心を培ふ。しかも、それは彼等の人生に、思はぬ大きな影響を與へるのである。

七、宗教的なもの……宗教を強ひたものは絶対にさげたい。彼等がやがて成人して求むる時、正しきものをつかみ得るその素地を作るべきものを選びたい。わが國に於ける學校教育は、不幸にも、このことに觸れないのである。われわれは、すぐれた脚本によつてこれを子供たちに與へたい。

八、風景、風俗、地理、歴史をあつたもの及び
九、科學的なもの……は、子供たちの智的方面を援け

るものであつて、望ましい。但し、この場合充分注意せられねばならぬのは、それが正しく取りあつかはれてゐるかどうかをしらべることである。

私の友人で尋常二年生の子供をもつ人がゐる。友人はこの息子に、二年生の童話さいふ五十錢本を買つて與へた。ところがその中に、美しい聲を出して鳴くお母さん鳥がうたさいふのである。鳥は雌よりも雄の方が美しく鳴くのである。

風景、風俗、地理、歴史その他のことながら正しくあつかはれてゐるものを選ぶことが最も大切である。

(2) 役割の決定

さて、演ぜらるべき脚本が、前のやうな氣持を中心にして選ばれたとして、次に起る仕事は、役割の決定である。

この問題は子供を指導するものによつて、相當重要な問題である。われわれは劇人としての子供を持たない。グループ全體が、われわれの對象である。故に、若しこの人選が適當に行はれなかつたならば、折角子供たちを全人的に

教育しやうとする立場から、劇を子供たちに與へるのでありながら、それによる効果なきは問題にならない程、大きな損害を蒙ることがある。

子供たちは、前にも云つたやうに、ごの子供も、創作したがつて居り、發表したがつてゐる。例へば、グループの子供が二十人あるとする。しかし選ばれた劇に要する人物は十人である。さうしたらよいか。更に、この人数の問題は、さうにかかたがついたとして、役割をさう決めるか。

役不足を感じる子供はないか。また、全體の効果をあげるためには、ある子供には、その役では荷が勝ち過ぎはしないか。しかも、その役をかの子供は望んでゐる。これらの問題は相當大きな問題である。

われ／＼は、このことのために、あらかじめ、準備せねばならぬ。

私の方法はこれである。

先づ、何よりも先に、選ばれたる脚本を、總ての子供の前で、朗讀するなり、また、はなして聞かせて、然る後に、子供たちに、役を買はせるのである。

勿論、この場合、二三の重なり合ひは豫想しなければならぬ。しかし、子供は、大抵自分の力を知つてゐる。また、自分の得意を知つてゐる。と同時に、人の力も人の得意も知つてゐるものである。あの子はきつごこの役を買ふから自分はこれ、さういふ風にゆくものである。若し、さうしてもうまくゆかない場合は、指導者から、説明をして指名する。

これが、一番いゝやうである。

たゞ、この場合、なるべく、みんなに役のつくやうなものを選ぶことが出来れば、これにこしたことはない。

(3) 練習

次の問題は、練習である。

前のところで、朗讀若くははなして聞かせる、さう云つたが、練習の最初は、やはり、朗讀して聞かせることである。はなして聞かせることである。

私は、いつも、脚本の朗讀の時には、その脚本の氣分を援ける意味から、レコードをかけながら朗讀する。

子供たちは、音楽を、そして読みあげられるセリフに、心を奪はれ、その氣分にしたつてしまふ。

一つ／＼のセリフなごは、何にも憶えない。それでいゝのである。これを二三回繰返へして、あごは、直ぐ、ステージに立たせて、演技をさせる。

よく、子供たちに書き割を與へて、何時何日までに暗記をして来るやうに云はれる方がある。が、これには、私は賛成しない。

第一、書き割を與へて暗記をさせなければならぬやうな長いものを、子供たちに與へるのが間違つてゐる。かういふことをするから、勉強のさまたげになるさか、餘計な頭をつかはせるさか、批難されるのである。

私は、童話を練習する人たちによく云ふことであるが、童話は決して暗記をしてはならない。なるほご暗記をしてゐる程でなければ話は出来ないと思はれるのも無理はないが、暗記をするこの害は、想像を全くだいなしにする他に、その場のウィット、その場の氣分に乗ることを出来ない。

これと同様に、児童劇に於いても、われ／＼は、出来るだけ暗記の方法でなく、彼等が、指導者の朗讀によつて理解した、その氣持を、その心持を、そのまゝ、子供たち自身の動きと言葉によつて、進めてゆく方法をせりたたい。

脚本には、作者のくせがある。そのくせを、子供たちが必ずしもつてゐるさには限らない。全體の氣分さへわかれば、あごは、子供たちのはたらきに委せればよいのである。

私は、最近ニールの書いた *The Problem Parent* という書物の譯本を讀んだが、その中にホーマー・レーンの、母子の話が引用しあててゐる。

「ごく小さい赤ん坊が、ふみ自分の前に動くもの——自分の手——に氣がつく。それから、赤ん坊はこの新らしく發見した手を、さうやら自分の思ふやうに出来るさか、事實がわかつて来るさ、赤ん坊は、それを動かすことが出来るのである。次に赤ん坊は、このものが何に似てゐるかを見出さうとする。だが、この時まで赤ん坊は物の性質を調べる方法としては、口を用ひるより外に方法がない。其處で赤ん坊は手を直に口に持つてゆくのである。しかしそれ

は、簡單にはゆかない。赤ん坊は幾度もく同様なこころをやつて見る。そして終ひには疲れてしまふ。でもまた続ける。この時母親は赤ん坊のこの様子を見てゐる。そして赤ん坊がぢれつたがつてゐるのを見て、すつかり手傳つてしまふ。母親は赤ん坊の口に手を持つて行つてやる。するこゝ

赤ん坊は足で蹴つて泣く。それは母親が赤ん坊の最初の精神活動を妨げたからである。赤ん坊の本來の望は、手を口に持つてゆくこゝろであつた。しかし、その望は、母親のおせつかいのために、間もなく消えて、更に大きな興味——手が其處に來てゐるこゝろ——がそれに代つた。不用意にも母親は、赤ん坊の創作活動を妨害してしまつたのである。不用意にも彼女は、精神の前に物質を置きかへてしまつたのである。

劇に於いても、指導者は、先生は、しばしば、この子供の創造的活動を妨害する罪を犯す。

子供は、常に創造してゐる。

大人は、それを妨害してゐるのである。

物質の前に、精神を與へよ。

セリフの前に、氣分を與へよ。

子供たちは、その氣分からセリフを創造するのである。

(4) しぐさ

次の問題は、しぐさである。

これも、やはり、子供たちに、まかすべきである。たゞ子供たちには、かうすればかうなる、こゝろ推理の力がない。この點に注意して、大體の方針さへ與へればそれでよいと思ふ。たゞへば、ちいさなセスチユアは、遠くからは見えないさか、早い言葉は、遠く通らないさか、いふ注意は必要であるが、その他のこゝろは、全部彼等にまかせて差支へない。むしろさうするこゝろが、その劇に、兒童性を與へ、自由を與へ、子供らしい潤ひを與へるこゝろになるのである。

(5) 舞臺裝置・衣裳・照明・その他

その他、舞臺裝置、衣裳、照明、こゝろこゝろ子供にやらせ、指導者は、そばで靜かに見護つてやるやうにしたい。

こころさな感じはよくない。

特別な準備はよくない。

凡て、子供たちの標準、子供たちの理解、子供たちの力に應じた仕組みにしたいと思ふ。

白い着物をきた方がいいと思へば、子供たちは、直ぐに、自分に最も近い、毎晩使つて寝る敷布をもつて来る。

杖が要ると思へば、子供は、直ぐに、近くにある藪の中から適當な竹を切つて来るのである。

舞臺をもう少し高くしたいと思へば、子供たちは、きこからか探して來たみかん箱を積みかさねて、それを高くする。

指導者のつこめは、この子供たちの創造に對する熱心を妨げないことである。これを伸してやることである。

前後のわきまへもなくもつて來た敷布を、もう一度つかへないやうにしてしまふのを防ぐことである、竹藪に入つて竹の切りかぶで足をきづつけないやうに護つてやることである。舞臺がこわれて、子供に怪我をさせないことである。

結論

最後に、もう一度申述べたい。

兒童劇は、子供たちに對する、單なる情操教育の一手段ではない、人間としての全的教育をなす、極めて大きな仕事である。

おせつかいは禁物、ただ子供たちの創造への努力を、か
けから援けよ。

これが、私の申上げたいことの總括である。

倉橋主幹今夏の講習

七月二十一日—二十六日	東京市	日本幼稚園協會主催
七月二十七日	”	昭和保姆養成所主催
七月三十日	”	佛教保育協會主催
八月一日—三日	仙臺市	宮城縣教育會主催
八月六日—八日	長崎市	長崎縣保育會主催
八月九日—十一日	岡山市	吉備保育會主催
八月十三日	舞鶴町	舞鶴幼稚園主催

製 作 を 心 中 と し て

應 答 者 —— 倉 橋 先 生

A 二年保育や三年保育の場合は基礎から段々に導いて行きますが、一年保育ですと、ごの子供も思ふ様に伸ばしてゆくことは難しい、私は一年保育の組許り、然も六年も續けて持たされて居りますが、ほんごにむづかしいと思ひます。出来る子供はごんご進んで行きますが、力を出し切れずに小學校に送つてしまふ人もできますから、この場合ごに目當をおいたらよろしいのでせうか。いゝ子供を手傳つてやるごを少くして、力の出し切れない子供に盡した方がよろしいでせうか。又その取扱ひ方も一齊にした方がいいか、分團的にしたがいゝのでせうか。一年保育の組は入園した時に随分能力に差がありますから、大きな製作をしようご致しますと、力のある子供を働かせるごになつて、出来ない子供は置きざりになるご云ふ様になり易いので、何時も大きな仕事をされずに小さい仕事をしてしまふ様になるのです。

倉橋 これは必ずしも一年保育の場合に限らない。何處迄子供を連れて行かうごなさるのですか。

A それ解らないのです。自分としては助手でもたく

さんあればグループをたくさん拵へて子供の個性に應じて行ける處迄行かせたいのですが。

倉橋 幼稚園に居る間が長ければ其處迄連れて行かれるが短い間に仕様ミするから難しいミ云ふのでせう。方針ミして出来ない子供をそのままに打つちやらかすミ云ふことではないが時間ミ手が足りない處から出来る子の方が主になつてしまふミ云ふことになるのですね。實際問題ですね。

A 伺ひ度ひのは共同製作、これをするミ出来ない子が寄り付かなくなつてしまふのです。

倉橋 個人作業の場合大きなものはむつかしいし、グループ製作の場合は大きいもの程仕易いミ云ふわけです。駄目な子がある處迄連れて行かれないことはいけないがその爲に能力のある子の延びて行くことを、云ひ變へればその子供に提供されたる幼稚園生活の利用權を妨げるわけにもゆかぬ。問題は手が足りないのを一人で如何するかミ云ふことになるのですね。一年かゝつて何處迄連れて行くミ云ふか或標準はつきり口では云へないかも知れないが何か

あるのだから、何ミかして其の處迄連れて行くべく特別の注意を拂ひ目を掛ることは方針ミして考へたい。それにしても手がなくては困る。これは手を増やすより他ないね。

A 私はそれで困つて昨年は共同的な製作、運動會の粘土製作などで子供に子供を引つぱらせました。——共同的なものだミ出来るのですが個人的なものをやつてみようとするミ出来ないので困ります。それでも子供が自分から何か拵へて見たいミ思ふ氣持を起すミ云ふ點で少々成功した様に思つた事です。

倉橋 『何處迄連れて行かうミしないでその子の一ぱいを發揮させるがよい』ミ或る本で讀んだことがある。氣持はいゝのだが其處が問題ですね。貴女の苦を解決すべく極端に云へば、幼稚園の製作においては、何處迄行くかミ云ふ事はそんなに重大ではなく、うまからうがまつからうが何かをやつてゐるミ云ふこと、何ミかやつてゐるミ云ふ處に興味があるミ見たい。従つて其の子がせめて何か始終やつて居るミ云ふ處迄はもつて行きたい。これは一つの方針

である。小學校教育の場合は揃つて或る處迄ミ云ふこゝがあるが幼稚園の場合はそこ迄せい揃させなくともよい。まがりなりにもさうにか子供がやつて居る、出来る子も出来ない子も何かやつてゐる。それでいゝでせう。其處が小學校ミ違ふところで一年なり二年なりの幼稚園生活其ものが或る子供は充實し或る子供は充實してないミ云ふこゝではいけない。ミこ迄連れて行くかミ云ふこゝは第二の問題で、又實際其處迄行かないだらう。しかしこれは一般的に云ふこゝで特別にねらひを付けて子供をそこ迄つれて行つた経験の有る方があるでせう、全般的に働かして行くミ云ふこゝが大切ですね。

O 私ならこんな方法も取ります、一齊に粘土なりなんなりさせて置いてその傍で或る子供達の共同製作を指導するミ云ふ様なこゝに。

倉橋 手が無い時特別の秘訣が何か有るかミ云ふこゝです。ね。

A 子供の心理的な問題ですが上手な子が下手な子に手傳つてやつたりする時その子は自分が手傳つたミ云ふこゝ

にある誇を感じたり又下手な子は下手なりにやりたい氣があつたりする時のこちらの態度なぞ。

倉橋 それは非常に大切なこゝです、(先生自身でさへ貴方は下手だミ顔に現はすかもしれない)、下手ながらやりた氣がある其處が摺み所で下手なら下手でいゝでせう。何かしらしてゐるミ云ふ事になつたら、そこでいゝミ云つては困るが第一はそこでせう。やりたく無い子供をそこ迄連れて來るミ云ふ事それが幼稚園の職能でせう。

A 回数を重ねるさうまくなります。

倉橋 やつて居れば上手にもなつて行くでせう。技能指導は個人指導ですね。一人の子を指導するために三十九人を捨て、おくミ云ふ他に、全體を取り扱ひながらの個人指導は、これは長年の経験でせうね。

A それから材料の與へ方ですがぎんぐ、出来る子にたくさん與へれば出来ない子供にも出来ないこゝがわかつて居ながら與へないでは居られない様な氣がしたりして。

O 習慣もありますね、貴方はこの次にねミ云ふ様なこゝで、でも次には本當にやらなければね、虚をつく事にな

りますから。

倉橋 小學校では、ここまで行かせるその、ここまでが大事ですから中途をねらふことになる。まあもしも出来ない子供の爲に考へるなら、自ら先生の氣の入れ方材料の與へ方によつてその子をより多く働かせる加減は出来るわけですね。

製作の實際はよく解らないが、その考へ方として、まださうも製作をすることにのみ限られてそこから抜け切らないと思ふ。小學校教育に手工科のおかれたのは極く新しいことです。これは小學校教育のいろんな科目をみる、手工の持つ種類の教育効果が足りないので加へられた。そこで幼稚園の保育項目は教課を同じものでないを解つてゐても項目を並べるこそその一つをいふ考へ、手工を云ふ一つの科を云ふ感じ方が抜け切らない様ですね。幼児生活に如何なる關係を有つかを云ふ事で項目は考へられねばならない、羅列的な項目の一つとして考へないで製作を幼稚園に云ふものさう云ふ風に考へられるべきかを云ふことで、私はかう考へる。とにかく製作を云ふ保育項目を幼稚園の

中にさう入れるか、時間で配當仕様にするのはモザイク式だ、人間の生活に云ふものは内部から外へ主觀から客觀へ行くに云つてよい。遊戯に云ふものは藝術としての型としては離れて考へられるのが子供の「おざり」は内的なものの自然表現で實にその子にくつついてゐるものである。唱歌は之に比べて少し離れてゐる樂譜に書くことが出来るに云ふことに於ても、この様な意味から見て行くに製作に云ふものは物に託してつくる物を通して現す、造り手が居なくなつても人そのものから切り離されたものとして残る。この製作からもう一步離れたものが文字と言葉である。保育項目では唯並べるがこの意味からも考慮されねばならない。

幼稚な子程自身自身に近いもので生活する。子供の發達程度により又其の時の氣持によつて違ひ自分そのもので生活したい時を何さかして出したいと思ふ時があるでせう。そこで幼児に云ふものは丁度「製作」の世界位自分から離れた處の生活をする時期に在るさう處から幼稚園では製作を中心に置くに云ふことになる、幼児、満三歳から満六歳迄

の子供は唯踊り唯唱つてゐる子供では無い、觀念に迄は行かないが製作迄は行く、先年の文部省の講習で幼稚園に於てなぜ製作を中心にするか云ふ處で、私はこんな風に云つたと思ふ。人生を御覽なさい。みんな人生に於ては働いてゐるじやないか。みんな製作をしてゐるじやないか。人生は製作を以て中心にしてゐるじやないか云ふことを云つたがそれでは何か足りない處があつた。それが前に述べたこゝで補はれると思ふ。そう云ふわけで、出來上つた結果の善し惡しを考へないわけでは無いが、製作に託した生活が如何に幼児らしくあるか云ふこゝが第一に上げられなければならぬ。

だから云つてうまくまづく云ふ事が全然問題で無いとは云へない。人類文化から見れば上手なのがいゝ併し、それよりもその製作に託して如何に生活するかと問題である。長い間製作をして居れば結果に於いてテクニクも上手になるが、その間に自づこ數や文字の觀念がはつきり與へられて來ます。

私は、大きい仕事小さい仕事といふこゝを申しますが、

具體的即ち生活的だといふ意味で大きい製作は全體的制作です。全體のこ申してもいろ／＼程度はありますが、出來るだけ部分的に見てのうまいまづいといふのをさけて、全體的なものにして行かうとする時に、その中に澤山の教育効果が含まれて行くのです。うりや遊びをする時に、店には何がされくらゐある、字が書いてある、こいふこゝになつて小学校低學年だこ數學教育や文字教育に結びつけてしまふ。幼稚園ではそこまで持つて行くべきではないが、そこに發展して行くのである。これによつてぎれだけ生活の間口が含有されるかが、今日の幼稚園製作を考へて行く要點になるのではないか。一般の人は、未だこゝも、製作こいふものを技術のものこ考へる傾きがある。何だか小學校でやる手工のやさしいものを持つて來る考へがまだこゝり來れないと思ふ。

B 先生のお話を承るこ個人製作云ふものこれは極端に云つて無い方がいゝと思はれるのですが。

倉橋 個人製作では生活の發展性が無い、其處迄ひろがる爲には大勢の方が樂なわけではないでせうか。共同製作

だミ、誘はれてしたい氣持が出て來ますが個人製作はさうはいかないからその無理は避けたい。皆が同じ箱を一齊に拵へるさいふ場合生活の必要からミ云ふのは考へられるが技術なんて云ふ方からは意味はない、(幼稚園では)、友達がついてゐるから自分もしたくなるそんなここから皆同じものを拵へるミ云ふことはあり得るが、皆一齊に同じ箱を拵へたくなる、また拵へるなんて云ふ事が有り得るだらうか？同一性の中に置かれるミ云ふことに意義を感じる子供もあるにはあるが。これだミ先生はらかなものですよ。

B そりや分つて居りますけれど一人で四五十人も受け持ちますよ。

A 私も、はいりたての子は製作の様子も分らない手も動かないので、私の計畫から入つてまゐりますよ。

倉橋 はいりたての子供に、豆を一皿、ヒゴ、を與へて、さあミほして御覽なさい——。斯うして次第に幼稚園に適應させて行く。それを悪いミは申しますまい。けれどもそれを製作だミは云ひたくない。

昔の幼稚園はそれがむづかしくなつただけで終りまでそ

れで行つた。それは作業ではあるが製作ではない。他の必要があつてやるのをそれをいかぬミはいへないけれど。つくづく手が足りないので仕方がない、さいふ事は澤山ありませうけれど、何時迄もそこに止つてゐるは際限がない。

理想的の條件のミ、のつてゐる子供達を集めたなら初めから理想に引き入れるミは可能だが——。最初の間はミもかくミして、併し何時迄もこの調子で止つて居てはいけない。

O 共同製作許りですミ、五六の子供のみを活動し他の子供は唯自由遊びで過してしまふミ云ふ様な事はさうでせう。

倉橋 Aさんの案じる問題になるが、研究の餘地がありますね。

C 綜合製作の場合これはこの子、あれはあの子にミ各々に適當に與へる事が出来るのではないでせうか。

倉橋 社會には、やさしい仕事で忙しくしてゐる人もありルンペンもあるが、何ミか配分がありません。個別製作

で、同じものからスタートして個人的に指導する、その位の努力をかければ、共同製作の中で職業紹介所の役をこつて行く事も出来よう、共同製作の中でつかまへて行く機會は

ありやしないか。個別製作を云つた場合出てくる價値は心理價値の方が主となり、綜合製作の場合は勿論綜合的全體的興味喜び即ち社會價値生活價値が主になる。心理價値を輕んずるのではないが、前者に於いて後者の興味を取り入れる事はむづかしい。後者には全體的によるこびがあり、その中に、先生の指導によつて心理的發展を圖る事が出来る。製作の心理的發展の方が歴史的に勝れて研究されてゐるが、綜合的の方の研究はまだ充分に手がついてゐないだけにうまく指導しにくいでせう。残る問題は四五十人を狭い部屋で材料費も少くてやる場合、之が何處迄實現し得られるか云ふ事です。こんな状態でも出来るものは一齊個別的なものを與へて個別指導を圖るに云ふことになるのでせうが、まだく製作を子供の本能的遊戯を負けない位興味を持つてやる綜合アンビにまゝごこぎがあります。要素とする綜合遊びを研究して行く問題がたくさんあるんぢやない

かと思ふ。私のは一つの考方であつてそれ以外のはいけないといふのではない。市内の幼稚園でなんかはさうしてゐてせう。

B 二年保育の子なごは幼稚園生活にも慣れて自分の考へをその製作に於てぎんぐ出して行くに云ふ風になつてます。

倉橋 それがうまく行つてゐますか

B 私の所なごではうまく行つて居ります。

倉橋 入園したての子供にはさういふ様にしてゐるのですか。昔はいきなりお新粉細工をしたけれごも。

K 手が充分にある時はそろく構成遊戯に入りたいたいと思ひます。

倉橋 家庭にしても幼稚園にしても、何も此方で手を出さなくとも子供の方は構成遊戯をして何かやつてゐますね。

K 積木なごは構成遊戯の中に入つてゐるのでせうね。

倉橋 構成遊戯の中には積木が多いです。積木は子供の方からいへば我々の「いろは」「アルファベット」の様なもので

せうね。都會の子供の構成遊戯である積木は具體的の製作し紙を剪つたり貼つたりする材料から始る製作は違ふ。

B 入園したての子供の取扱は特殊に致します。南京玉を通すとか折紙で遊ぶとかして眞の製作でないとして家庭でやつてゐる様な事をしてよろしいでせうか。

倉橋 材料を征服して行くこゝ事は愉快なこゝ事です。南京玉を通すこゝは、物の征服こゝは、物に於て楽しむ。物を折つたり曲けたり等こゝはみな材料の征服です。征服の愉快がありますね。

家庭なごでは何うして構成の方に入つてゆくのせう。
K 小さい組でも幼い子供は構成遊戯に入りません。ブラ／＼して居てそれで楽しんで居ります。

倉橋 及川先生の製作の本の一番初めは何でしたか。

及川 つなぎ方です。之は小さい人にも出来るさしあたるもので、後には構成の要素になつて行くものです。

倉橋 本能的征服の愉快から教育へに移す時にそこに問題がある、實行へのうまさに行くも一法。實體へ行く一法。二者の何れに先づ目をつけるか。

この位の時期から實體を前にして實體を表現するやうになりますかね。

S 大きい組ではもう實體に入つて居ります。小さい組ではそれが出来る子も出来ない子もございますわ。子供自身の考へから生れるのでなくても暗示によつて生れて来るのも入れていゝのでせうか。

K 小さい組の、一學期の興奮状態がすめば、出来ると思ひます。

O 口だけではあゝして斯うしてさうまく申しますが、物を與へて自分で作らせるに實際は出来ない子がありません。

倉橋 野蕃人では子供いへさも生活に直面して居るから作りますが、都會の子供はむしろ出来てゐる物を利用して遊ぶこゝになつてゐるからそこらで違ふ。製作さいふ教育は低學年でなければ自分が思つてゐるものをさ／＼作る事は出来ない。ですから、幼稚園時代では先生と一緒に作つてゐるからいかさいふこゝが大變影響します。例へば時計屋さんならば、子供はそれを作るこゝによつて興味

を得る。先生が作つてゐれば子供も作りたくなる。そこで、問題のきこ迄持つて行くかといふことになりましたが、技巧は必要に伴ふ程度に止めておいて實體製作の方に重きをおきます。田舎の子供は實體製作をしてゐるのです。都會では既製玩具があり過ぎるのでそれが實體製作をやりがたくしてゐる。

如何にしたら實體製作へ進んで行く事が出来るか。アメリカ式のプロジェクト、メソッドは「人間の生活々動を論理主義に解釋してゐる」或人はいふが、用途を先にしなければ作らぬといふ論理主義にしても、これは實體製作に連れて行く方法であります。反面的にいへば、昔の材料を本態にするやり方は實體製作に導く効果を持つや否やといふ事です。幼稚園を卒業する頃になるに作るために作るといふことは興味が無くはないか。

K 矢張り喜んでして居ります。

O 私は、子供が自ら作り出せるまでになる近道の方法として、みんなの子供に作らせる方法も取つて居ります。

倉橋 練習といふことになしに、作らうといふ意志が作

つてゐるうちに發達して来る、それと同時に上手にもなる。それが所謂昔からの教育といふ意味だが、もう一つ、いきなり何ぞかその作り度いといふ子供の氣持に結びつけてやつて居るうちに、従来の教育の目的がなされて行くと思ふ。

O それぞや私共の今までのやり方は親切が過ぎるのでせうか。

倉橋 片方のは不親切になるおそれがある。けれどもその親切は後になれば生活に結びつくか、作らうといふ、イメージを外に出さうとする性根に、ぢかにふれてはゐない氣がする。「これを作りませうな」の方法による、幼稚園に來ればこそ課せられてゐる仕事ですな。

今日の製作では兎にも角にも缺が使へないといけなからミチヨキくのけいこをやる。自己に觸れない物を製作してゐる事がある。製作を通して生活を指導してゐるに、その子から出たもので出發させたい。子供には獨立の出發性は出來ないから出發迄には先生の工夫がいりませう。

文部省主催 幼稚園保母ノ講習

——六月二十九日官報抜萃——

- 一、會場 奈良女子高等師範學校
- 二、期間 八月一日—八月八日
- 三、講習定員 約五〇名
- 一、講師及ビ題目
兒童心理(七時間)

奈良女子高等
師範學校教授 本庄精次

保育法理論(七時間)

同 森川正雄

園藝(十時間實習一回)

同 福井稔

圖畫・手工(十時間實習一回)

同 横井曹一

保育實地指導(十時間)

奈良女子高等
師範學校保母 會澤タガエ

(注意)

- 一、講習員ハ實習費其ノ他雜費トシテ一人ニ付約金二圓ヲ要ス
 - 一、講習員ニシテ當校寄宿寮ニ寄宿ヲ希望スル者ハ七月二十日迄ニ當校教務課ニ直接申出ヅベシ但シ費用ハ舍費食費ヲ合セ一日金一圓ノ見込
- 六月二十九日官報ヨリ抜萃——

たより

○今月は新庄さんから原稿が廻つてきません。察するところ、毎月の口わる、のた、りでもありましたか、こ、暫くなりを静めて居るので御座いませう。

○口わるといへば、お口の倉橋先生が先達中よりお口のいたつきでお休みでした。私達どんなに心配したか知れませんが、今度の講習では立役者なのですから、これ許りは代役不能ですし、第一お客様が承知して下さいませ。でももう御安心下さいませ。

二三日前より御出勤で當日迄には大丈夫御本復と、信用ある醫者の證明があつたさうですから。

○今夏の講習は、はじめて午前午後通じて本會が主催するを機會とし、大いに新機軸を失したものと、私共は力みかへつてゐるので御座いますが、この期待を裏書きするやうに、先號が發送されますと早速おほめやら御鞭撻、共鳴のお便りと一緒に質問が續々とまゐりました。多数の待望する所だつたと見えます。何卒この試みが充分活用されて劃期的な講習にし度いものです。皆様どしどし問題をお出し下さいませ。問題は成るべく早く頂いた方が好都合で御座います。(編輯子)

第 一 編

東京女高師附屬幼稚園保母 菊池ふじの先生 共著
 同 徳久孝子先生 著
 幼 兒 の 人 形 芝 居 脚 本
 た め の

脚本十種、此の人形芝居は常に幼児に新しい歡喜を以て迎へられる。巻頭寫眞オフセット七度刷舞臺裝置、及び同じく各種人形を収め、ホプリン布厚表紙本綴、體裁瀟洒。

第 二 編

膳 眞 規 子 先 生 著
 自 然 物 お も ち や

幼兒保育上大切なお細工に於て、あらゆる自然物を利用し巧みに種々の形態を模せしむ。その數實に四百八十有餘種、敘説亦簡明、寫眞繪畫頗る多數。

第 三 編

東京女高師附屬幼稚園保母 及川ふみ先生著
 幼 稚 園 の 手 技 製 作

著者は東京女子高等師範學校附屬幼稚園に於て實際指導し來たれるものを各學期各月に配當し之を統整し、以て各幼稚園託兒所等に於ける最も緊要なる手技製作の指導保育を遺憾なからしむるやう、直接手をとりにて導くが如く、親切に敘述す。

第 四 編

目 白 幼 稚 園 長 和 田 實 先 生 著
 目 白 幼 稚 園 保 姆 養 成 所 長
 實 驗 保 育 學

著者は我國幼兒教育界の權威者にして、多年幼兒保育の實際に任り、學術的に實際的に幾多の尊き蘊蓄が凝つて本書を成したるもの。小學校に於ける教育學の如く、實に幼兒教育界に於ける教育學としての輝ける寶玉であり、最新の保育指導書である。

株 式 會 社 丸 井 館

本 店 京 東 神 田 今 小 川 路 電 話 九 三 八 二 七 番
 支 店 大 阪 東 區 平 野 三 町 電 話 本 局 一 六 三 八 番

日本幼稚園協會編輯 幼兒の教育

會長 東京女子高等師範學校長 吉岡 郷甫
 主幹 東京女子高等師範學校教授 倉橋 惣三
 附屬幼稚園主事

日本幼稚園協會規則

- 第一條 本會ハ幼兒教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス
- 第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼兒教育ニ篤志ナルモノトス
- 第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ齎出スヘシ、會員ハ無料ニテ本會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ク
- 第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルヘシ
- 第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルヘシ
- 第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得
- 第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
 - 一、幼兒教育ニ關スル研究及ヒ調査
 - 一、幼兒教育ニ關スル講演會及ヒ講習會ノ開催

- 一、雜誌發行(毎月一回)
- 一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行
- 一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
- 一、其他本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件
- 第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 - 會長 一名 會務ヲ總理ス
 - 主幹 一名 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス
 - 幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス
 - 幹事 若干名 務ヲ分掌ス
 - 評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ス
 - 第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス
 - 第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス
 - 第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ
 - 第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

定價

一ヶ月分	金參拾五錢
半年分	金貳圓拾錢
一年分	金四圓貳拾錢
拾貳冊送	共

特等面一頁 二等面一頁 金參拾圓 金貳拾圓 一等面一頁 以下 金貳拾五圓 御斷 神田區駿河臺ノ一品田 廣告社に御申込下さい

(外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)
 昭和八年七月八日印刷納本
 昭和八年七月十五日發行
 幼兒の教育 第三十三卷 第七號

不許複製 禁止轉載

東京女子高等師範學校附屬幼稚園內 編輯者 倉橋 惣三
 發行所 柴山 則常
 東京市本郷區駒込林町百七十二番地
 印刷所 會社 杏林 舍

發行所 日本幼稚園協會

注 文 規 定

一、本誌御注文の方は凡て前金(郵税共)で願ひます(郵券代用の場合には總て一割増)

一、御送金の場合にはなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます

一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せられたし

一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます

一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に「前金切」の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます

一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます

武藏野音樂學校長 福井直秋先生著

(刊新)

兒童唱歌七十二曲集

菊版洋裝美本

箱入全一冊

定價金壹圓貳拾錢

送料金八錢

兒童唱歌の基準!! 待望の名曲集漸く成る。

俄然大評! 文殺到! 注殺評!

こつきわかくさ。ささぶね。みいちやん。ぶらんこ。たんぼぼ。シヤボンだま。あをがへる。ひよこ。さよなら。つばき。さくら。日の出。すずめのおやど。子ねこ。まりなげ。はしれ。國の祝日。ねむれ。青空。野ぎく。朝。濱邊あるき。つっじ。山路。ねむりませう。月。兵隊さん。風車。ご門の電燈。みなしご。冬が来た。氷すべり。蝶々。川遊び。朝風。鯉のぼり。雲雀。池の緋鯉。登山。子雀。星のひかり。山家のちいさん。月のひかり。霧。雪。春景色。田舎道。琵琶湖。夏。山。盆踊。涼しき森。汽車の旅。残れる秋草。小さき星。落葉。郊外の秋。港のにぎはひ。懐しの友。冬枯。花見。春風。小舟よ。あやめ。松風。懐し我が母。川邊の柳。うれしや我は。清き小川。冬の夜。親の恩

日音 本樂 教協 育會

新尋常小學唱歌伴奏及解説

エホンシヤウカ春夏秋冬の巻

全六拾冊 定價各六錢 送料六錢

新高等小學唱歌伴奏及解説

子供の舞踊

全二冊 定價各九錢 送料六錢

卷一・二低學年用各六拾錢 送料六錢 卷三・四高學年用各金一圓 送料八錢

振替電話 東京 田代 〇八三三

音樂教育書出版協會

東京 市神田區 二丁目

月刊

號 月 八 行 發 日 五 月 七

定價 一年半
部前年 五金
十五圓 二金
錢十圓 五金
二圓 八金
錢十六圓 五金

編輯顧問

東京女子高等師範學校幼稚園主事

倉橋惣三

本號目次

◎夏が来ました。山にも、野にも、街にも、海にも、河にも、すさまじい力こぶを入れた、夏が威勢よくやつて来ました。そして、あやゆる物は、生々として喜びに溢れてゐます。丁度子供が楽しい遊びに夢中になつてゐるやうに、夏は子供の天地です。嬉しい愛する子供の爲に、この夏を心ゆくまで味はせ、身体も心も、すくすくと眞すぐに伸びさせるやう、心から注意を拂ひます。

◎『ゴドモノテンチ』は、子供のために生れて来た楽しい嬉しき夏であります。而も其處には心身も引きしまるやうな涼風や、漲るやうなき生き生きとした流れがあつて、自由に快活に嬉戲する子供の天地が手を擴げて居ます。

◎新しい時代の子供には、新しく朗かなしいかもし供の眞の爲になる本當に子供が喜び供の爲になる物を與へなければなりません。『ゴドモノテンチ』は即ちその理想にかなつた日本一の子供の繪雑誌です。

- ◎表紙(山の風) 清水良雄
- ◎目次(イチゴ) 越智波爾芽
- ◎扉(アサガハ) 石井柏亭
- ◎朝だ朝(童謡) 北原白秋
- ◎蟬捕り(子供の遊び共四) 武井武雄
- ◎ピヨピヨひよつこ(童謡) 初山滋
- ◎ロビンソン(繪話共三) 森田肇
- ◎蛙の一家 川上四郎
- ◎エスカレーター(童話) 本田庄太郎
- ◎休みの健一とゆう子(東京驛出發) 森山肇
- ◎叔父さん叔母さんの歓迎 同
- ◎(着早々のいたづら) 同
- ◎地引網と驢馬(お魚なもらつたり) 同
- ◎海水浴(ホスも一緒に) 同
- ◎パセウノカヘル(童話) 濱田廣介
- ◎オヒゲノチイチャン(漫畫共三) 前川千帆
- ◎エノケカキタジユンジョ 吉倉賛治
- ◎カラストブタ(数の概念) 岩本こも枝
- ◎メンタルテスト 武井武雄
- ◎裏表紙(圖案) 熊谷至太郎
- ◎附録「自動車」(細工のもの) 中山五郎
- ◎曲譜振付(ピヨピヨひよつこ) 土川五郎
- ◎お母様方の頁：子供に對して聞かせる話
- ◎生：等 作者の言葉：當選發表：衛

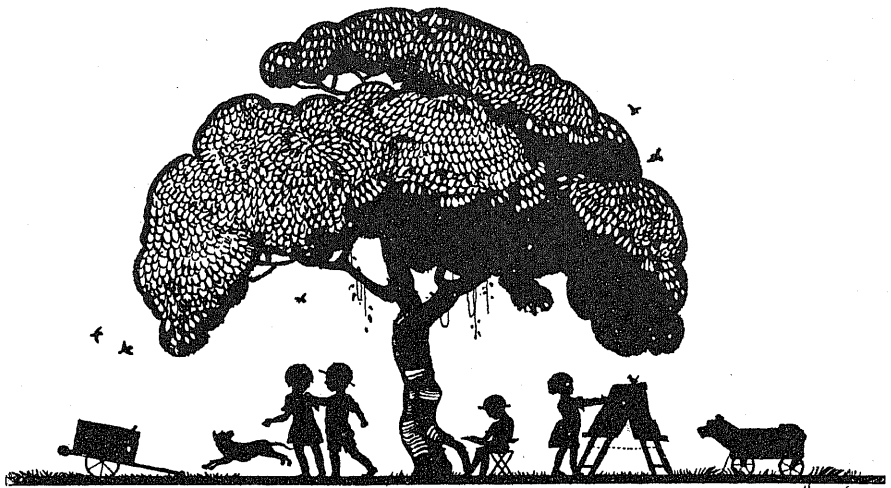
編輯顧問

東京高等師範學校圖書科主任

板倉賛治

發行所 子供の天地社

東京電報 市本小東 京石川 郷區 駒込 驛 一十町 六三九



夏休みにお子様方満悦一〇〇%の
手技用品ごおもちゃ

- ◇團扇——淡い、紅・黄・紫・緑・水色の五種。
何れも貼紙クレオン等で圖案を施して用ひ
ます。各色取合五十本 一組 金一圓五十錢
- ◇木舟——木製のお舟、エナメルで仕上げ水
に浮かせます。 一艘 金十二錢
- ◇紙舟——茶ボールに印刷した厚紙細工、剪
つて開き紙でこめ、クレオン色テープ等で
意匠し水に浮かせます。 五十個 金一圓
- ◇ポンプ——消防用小型の機構全部金屬製ラ
ツカー塗装、ゴムホース付 一臺 金十五圓
- ◇龍吐水——全部金屬、要所砲金使用 一個 金三十圓
- ◇噴水——水槽、水管、噴水孔付水盤
木製 一個 金二十錢
- ◇撒水車——便利で應用自在、 一揃 金八圓
- ◇砂場用具——一號品にバケツ・杓・木
鋤・新案杓子。 一臺 金十二圓
- 二號鐵製シャベル・ホーレーキ・ホー
ク・板箕・篩。 一組 金七拾圓
- 二號一組 金七拾圓
- 一組 金一圓三十五錢
- ◇砂場の汽車とトンネル 一組 金一圓三十五錢

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
(毎月一回十五日發行)

昭和八年七月八日印刷納本
昭和八年七月十五日發行

定價三十五錢

株式會社 貝魯館

本店 東京・神田・今小川路・電話九三(33)段二七番
支店 大阪・東區平野町・電話本局六一八番